

Vol.8

Shinobugaoka 2016

# 忍ヶ丘



宮崎学園短期大学  
Miyazaki Gakuen Junior College

# 宮崎学園短期大学校歌

狩野 満 作詞

石田 良男 作曲

*mf*  
う る わ し や き り し ま や ま を み は る か し か ー ぜ ー わ た  
ゆ か し き や し ら く も と お く き ゆ る は て な ん ー ご く

*cresc.* *f* *rit.* *mf*  
る し の ぶ が お か ー に ま な び や た て り わ れ ら が ぼ こ う つ  
の し お さ い き き ー て ま な び や た て り わ れ ら が ぼ こ う と

*a tempo*  
ど い き て き ょ う こ そ ま な ー べ わ か き わ れ ら の ゆ め は は る  
き う つ り わ か れ ゆ く と ー も わ か き わ れ ら の む ね に う た

1. *V* 2. *V*  
け し ゆ は む あ あ わ れ ら が ぼ こ う わ れ ら が ぼ こ う

## 忍ヶ丘 第8号

【編集委員】 池田 敦子 齋藤 隆文 ウォーカー祐貴子  
戸敷 早苗 しのぶ会事務局

【発行日】 平成28年3月19日

【発行所】 宮崎学園短期大学  
宮崎学園短期大学内 しのぶ会事務局  
〒889-1605 宮崎市清武町加納丙1415  
TEL. (0985)85-0146

【印刷所】 株式会社 エスアイエス

# Contents

## ◆学長所感

殻を破ること 学長 宗和 太郎 …… 1

## ◆【特集】宮崎学園短期大学創立 50 周年

学長 宗和 太郎 …… 2

## ◆建学の精神「礼節・勤労」

「美在心」 准教授 倉永 愛子 …… 5

人間力を高める「人間の研究Ⅱ・勤労」の指導  
教授 岩切 徹志 …… 5

## ◆宮崎学園短期大学と諸団体との包括連携について

学長付部長 久保 良一 …… 6

## ◆学科編成・紹介

保育科 …… 7

現代ビジネス科 …… 8

専攻科（福祉専攻） …… 10

専攻科（音楽療法専攻） …… 11

## ◆オープンキャンパス

## ◆保育フェスティバル

保育フェスティバル実行委員 後藤 祐子 …… 14

保育科 2年E組 松迫 知佳 …… 15

## ◆平成27年度「宮崎学園短期大学 保育研修会」

保育研修会担当 教授 中武 亮子 …… 16

## ◆平成27年度 教員免許更新講習 …… 17

## ◆保育士資格取得特例講座 …… 17

## ◆生涯学習推進委員会

平成27年度 宮崎学園短期大学市民講座「いきいきシニアセミナー」

生涯学習推進委員 倉岡 豊実 …… 18

「子育て支援セミナー」  
生涯学習推進委員 後藤 祐子 …… 19

「ニューライフ・アカデミー」  
生涯学習推進委員長 花畑 明美 …… 19

## ◆短大生活365日

【学友会活動】 …… 20

「学友会活動を通して」 学友会会長 入佐ひかり …… 20

「学友会活動」 学友会副会長 金丸 奈央 …… 20

「五十周年の節目に」 学友会副会長 島澤 あい …… 21

「学友会の思い出」 春の忍ヶ丘祭実行委員長 那須 尚暉 …… 21

「秋の忍ヶ丘祭を終えて」 秋の忍ヶ丘祭実行委員長 杉山 夏季 …… 21

【保育科】 …… 22

「実習を通して学んだこと」 2年C組 皿良 美琴 …… 22

「社会人／専攻科進学に向けて」 2年E組 佐分 智樹 …… 22

「短大生活を振り返って」 2年F組 原口 梨紗 …… 23

「二年生に向けての抱負」 1年B組 木村 遥香 …… 23

【現代ビジネス科 ビジネスコース】 …… 24

「インターンシップに参加して」 1年 加那屋茉莉 …… 24

「図書館実習に参加して」 2年 切畑 薫 …… 24

「この一年間を振り返って」 1年 岩崎 翔子 …… 25

「短大生活を振り返って」 2年 濱砂 勇二 …… 25

【現代ビジネス科 医療事務・医療秘書コース】 …… 26

「医療事務とは？医療秘書とは？」

コース主任 武村 順子 …… 26

「医療機関実習Ⅱを終えて」 2年 黒木 梨加 …… 26

「体験は自分を成長させる！」 1年 二原 由奈 …… 27

「二年間を通して学んだこと」 2年 石脇 奈菜 …… 27

【専攻科】 …… 28

「福祉専攻での一年と私」 福祉専攻 萩原 楓子 …… 28

「充実した一年間」 福祉専攻 永田 昌也 …… 28

「専攻科を振り返って」 音楽療法専攻 今村 美月 …… 29

「学ぶのに遅いという事はない」 音楽療法専攻 山出 真美 …… 29

## ◆サークル活動紹介

宮崎学園短期大学合唱団 部長 伊東 由衣 …… 30

「一期一会のおもてなしの心を大切に」

茶道部 部長 姫野 杏奈 …… 30

「文芸・漫画研究会」 部長 橋口 眞優 …… 30

陽だまり部 部長 齊藤 美咲 …… 31

「身近に感じる日本の伝統の美しさ」

和装部 部長 中武 えみ …… 31

わたなべ塾（英会話） 部長 鈴木 香澄 …… 31

卓球同好会 部長 松尾 星 …… 31

S Cサークル 部長 宮下 鷹空 …… 32

バレーボールサークル 部長 加治佐勇星 …… 32

ダンスサークル 部長 岩切 愛 …… 32

ヨガサークル 部長 小倉あづさ …… 32

宮崎学園短期大学アースウォーカーズ

部長 田代 茜 …… 33

## ◆平成27年度 就職状況中間報告

就職指導課 …… 34

## ◆新教職員紹介

保育科 井上 浩義 …… 36

保育科 小澤 拓大 …… 36

保育科 高妻 弘子 …… 36

現代ビジネス科 齋藤 隆文 …… 37

保育科 富高 令子 …… 37

保育科 東 眞美子 …… 37

保育科 松下 律子 …… 38

保育科 泰田 久史 …… 38

入試広報部 吉井 真也 …… 38

## ◆平成28年度オープンキャンパス

7・8・3月の3回開催！ …… 39

## ◆しのぶ会だより …… 40

# 殻を破ること

学長 宗和 太郎

就職面接において最近よく聞かれる質問に「学生時代の失敗体験から学んだこと」というのがある。失敗に注目するのはなぜだろう。

大学教育学会のシンポジウムで大手企業の人事経験者が、入社試験で見るとはその人の人間性で、大学で何を学んだか(専門性)は一切顧慮しないと発言し、大学関係者がどよめいたことがある。文学部も経済学部も工学部も関係ないと言ったのである。

企業が求めている人材像を一言で言えば「自ら選択し、考え、行動し、やりきる力」であり、最近の新入社員は「素直で協調性があり、真面目だが、受身で、考える習慣がなく、答えのない状況への不安感が強く、失敗を極度に恐れる」と表現した。

人間は何も知らず、何も分からず生まれてくるのだから、人間に失敗は避けられない。むしろ人間は失敗から学ぶことで、自分を成長させるのである。自分の置かれる境遇が次々変われば、そのたびに失敗を重ね学習しなければ

ならない。だが、失敗には多かれ少なかれ痛みが伴う。痛みは恐れや不安を引き起こし、避けたい気持ちが出てくる。失敗なくして成長できないが、失敗の痛みは避けたい、どうしたらいいか。成長をあきらめ、余計なことをせずに済む安楽な環境を見つけ引きこもるか。しかし現実にはそんな安楽の地は見つからない。

そうならば、痛みに耐えられる力を徐々に身に付けていくかしかない。見落とされがちだが、私たちは誰しも痛みに向かう小さな芽を持っている。安楽なだけでは退屈と思う心、刺激を求める好奇心である。変わった物を見てみたい、変わった所へ行ってみたい、変わった事をしてみたい。そんな誰にも備わっている冒険心、子どもの自由な心を羽ばたかせるのである。そして思ってもいなかった事に出会い、自分を成長させるのである。小さな冒険を重ねて自分に自信がついてくれば、大きな痛みを伴うかもしれない大きなチャレンジにも挑戦できていく。

ドイツの教育学者ボルノウは、体験と経験の違いを痛みを伴うかどうかで分けた。体験は知っていることを実地で確かめることで、自分に大きな変化

はない。経験はそれまでの自分の考え、やり方が通用しない事に直面し、痛みを伴い自分の考え、やり方を改める。つまり自分がバージョンアップされる。経験豊かなプロとは、何度も自分をバージョンアップさせる経験を積んでおり、新たな事態にも有効に対処できる能力を備えるのである。

自分のバージョンアップを目指して、小さな冒険に出よう。先の人事経験者は「成功の反対は失敗でなく、不作為である」と述べた。



# 創立50周年を祝う

学長 宗和 太郎

## 本学の現状

本学は、平成20年度に宮崎女子短期大学から宮崎学園短期大学に名称を変えたが、本年度創立50周年を迎えることができた。この間送り出した卒業生は1万9千になろうとしている。卒業生たちの活躍が本学への信頼を築き、本学の発展を支えた。

平成4・5年まで増大を続けた18歳人口はその後減少に転じ、少子化はとどまることなく進行し、現在の入学者はピーク時の半分以下になっている。

少子化に合わせて、本学も規模を縮小し、英語科、国文科、音楽科、初等教育科、専攻科（音楽療法専攻）を廃止し、現代ビジネス（50名定員）、ビジネスコース・医療事務・医療秘書コースと保育科（210名定員）の2学科と、保育科の上に1年課程専攻科（福祉専攻…定員50名）に絞ってきた。それぞれ、就職は良好である。

50年の歴史は、前半30年を上り坂とすれば、後半20年は下り坂であった。今後少子化ならび

に人口の大都市集中も続くとするれば、地方の私立短大の生き残りは厳しい。今後の進学者の減少を予測すれば、今後10年で500名規模の大学が100校消える計算になるといえる。今後を見据えて、本学の存在価値を高める改革を追求して行かなければならない。

## 創立50周年への思い

50周年は大きな節目で、次は100周年ということになる。明治以降、学校教育は拡大を続けてきたから学校の50年、あるいは100年の伝統は珍しくはない。しかし、これからの少子化の時代はそうはいかない。企業に目を向ければ、毎年新たに4%企業が登場するが、4%の企業が退場すると言われる。日本の会社の平均寿命は欧米の倍以上だが、それでも25年だそうである。そうした視点で見れば、50周年というのは有り難い事である。

創立者の思い、建学の精神「礼節・勤労」、それを引き継いだ

歴代教職員の尽力、入学者を送り込み卒業生を迎える地元の理解と支援、そして本学に入学し互いに切磋琢磨して青春を過ごし、社会に羽ばたき活躍した卒業生のお陰である。それらに感謝の念を捧げながら、伝統の上に歴史の新たな1頁を開く決意と意気込みを示し、次の50年を築く覚悟を固めたいと考えた。そうした考えから、創立50周年を1日の行事に集約するだけでなく、1年間を通して創立50周年の意味を考えていこうということになった。

## シンボル

そこで創立50周年を象徴するシンボル、ロゴマークを学内外から広く募集し、50年の意味を図案として考えることにした。県内の高校生も含め、集まった93件から選ばれたのは高知県のデザイナー濱口温男さんのものであった。50の0に校章を重ねた素敵なデザインで、教職員の名刺や本学の発信物に入れ、広くさまざまな場所でアピールし

ていくことになった。



## イベント

オリエンテーションから始まる平成27年度の行事、春の忍ヶ丘祭、オープンキャンパス、秋の忍ヶ丘祭等の各種イベントにも、冠に創立50周年を掲げ、歴史と伝統に思いを寄せ、本学の誇りをアピールした。そして10月12日創立記念日に創立50周年記念式典と祝賀会を行うことにし、あわせて「創立50周年記念誌」を作成し、参加者に記念品と共に配布することになった。記念品は陶芸家である本学の泰

田久史先生に花瓶を作成していただいた。それぞれプロジェクトチームを作り後援会と同窓会にも協力を仰いだ。

## 記念式典



田久史先生に花瓶を作成していただいた。それぞれプロジェクトチームを作り後援会と同窓会にも協力を仰いだ。

に合わせたオープニングは「映像で見る50年の歩み」、式典に先立つ短い時間の中に凝縮した50年の歴史を垣間見た。国歌斉唱の後、学長が式辞を述べた。本学が安井滄洲・息軒親子が建てた郷校、「明教堂」ゆかりの地を清武町から提供され本学は誕生し、建学の精神「礼節・勤労」の下50年、地元にすっかり根付くことができたことに感謝し、今後の地方創生にしっかりと貢献する決意を語った。山下恵子理事長の挨拶、戸敷正宮崎市長の祝辞、原田祐三子後援会会長の祝辞に続いて、学生代表の入佐ひかり学友会会長が登壇し、「50年の歴史に感謝し、更に一步を踏み出し百周年に向けて発展に貢献していく」ことを誓った。

## 記念講演

10月12日、快晴に恵まれ、大坪記念ホールで記念式典は行われた。関係各界から多くの来賓を迎え、学生・教職員に旧職員も参列した。校歌のピアノ演奏

引き続く河野俊嗣宮崎県知事による記念講演会の題は「宮崎の明日を担う学生に期待するもの」。人口減少に対応する県の総合戦略と、そこで若者に期待

することが、知事の恋愛談を織り交ぜて語られ、学生たちは喜んだ。質疑応答の時間もあり、知事と学生たちが熱心に語り合うことができた。

## 祝賀会



その後、ニューウエルシティ宮崎に会場を移し、教職員、来賓、旧職員で祝賀会を行った。

学長挨拶、木脇孝子同窓会副会長挨拶に続き、来賓の飛田洋宮崎県教育長、山下忍名誉学長か

## 記念誌

ら挨拶を戴き、二見俊一宮崎市教育長の乾杯の音頭で祝宴は開かれた。本学の紹介ビデオ、卒業生石角玲奈さんによる津軽三味線、末平浩康先生の独唱などのアトラクションを挟んで歓談が行われた。それぞれのテーブルで本学についてのさまざまな想いが語られたことだろう。盛大な祝いの宴は、中石康弘清武総合支庁長の万歳三唱で閉じられた。



「創立50周年記念誌」は「地域に根ざして半世紀〜日本一の短大を目指して〜」を副題に、在学生や卒業生の寄稿に現在の本学の取り組みが紹介され、また50年の歩みがビジュアルにも見て取れるようになっていた。本学のホームページで内容が見られるようになっていたので、一度ご覧戴きたい。

50年の歴史は重い。さまざまな人の想いが織り込まれているからだ。それを更に次の50年へと繋げていく責任も重い。しかし教育は、人、そして社会の明日を開いていくことである。明るくなければならぬ。いっぺんに沢山のことはできないが、学生一人ひとりが明日に向けて一歩一歩成長できるように、教職員も一歩一歩成長することを重ねて、協力して明日の宮崎学園短期大学を切り拓いていく。教職員の協力の伝統こそ宮崎学園短期大学の誇りである。



# 建学の精神「礼節・勤労」

## 「美在心」

准教授 倉永 愛子



清武の町並みが眼下に広がり、その後ろには鰐塚山、そして遠く霧島山系を臨む風光明媚なここ忍ヶ丘。長い歴史を見届けてきた楠の大樹の脇に明教庵はひっそりと佇む。

本学の学生は、一年間ここの明教庵で建学の精神の一つである「礼節」を卒業必修科目として学ぶ。基準服を身に付け、黒の革靴を履き、背筋を伸ばして明教庵に入る学生たちの姿は、この歴史ある風景に清々しい風となり溶け込む。

礼節は、和室の入室から始ま

る。学生は、白ソックスを履き、静かに廊下に座り順番を待つ。一人ひとり襖を開け入室する。入学当初は戸惑っていた学生たちだが、休み時間の内に早く準備を済ませ、この入室を生きたまきとした表情でひたむきに臨もうとするその姿は実に爽やかである。

この和室の床の間に掛けられたお軸「美在心」。これは、清武町名誉町民である日高正氏が「美しきは心に在るなり」と本学の学生へメッセージとして書かれたお言葉である。

この「美在心」は礼節を学ぶ心の軸として、学生たちは「自他の人間性を尊びかつ己を律する精神」について、心のこもった関わりの大切さに気付き、互いに磨き合い、深め、学びに繋げ身に付けていく。

あの聖徳太子は「和を以て尊しと為す」とし、人として「礼」の大切さを説いた。

これからの次世代を担う学生たち一人ひとりが、安井息軒先

生の三計の教えと共に、ここでの礼節の学びを胸に、大切な人生を心豊かに歩んでいっていただきたいと心から願う。

## 人間力を高める

### 「人間の研究Ⅱ・勤労」の指導

教授 岩切 徹志

本学の建学の精神は「礼節・勤労」です。「勤労」は心身の健康の源であり、心身を労して全てのことに積極的に努力することです。この精神を具現化し身に付けさせる時間として「人間の研究Ⅱ・勤労」が設けられています。

年30時間の授業では、演習・講義と屋外での実習を10回行っています。

ソラマメの栽培は、5月に収穫作業、11月に播種作業。サツマイモの栽培は、5月下旬に挿苗作業、10月に収穫作業を行っています。

学生はこれらの栽培活動を通して、汗を流して働く大切さや友達との協力、食べ物育てて収穫する喜び、農業に関わる

人々の苦労や感謝などに気がつき、多くのことを学び取って行きます。まさに『為すことよつて学ぶ』のであります。

ソラマメ栽培は、1年生から次年度に入学する1年生への贈り物として、短大の伝統となっており、袋いっぱい持ち帰り、家族からも喜ばれています。

学生が勤労の意味を理解するとともに、「社会貢献」や「達成感」「自己実現」の喜び等を体感し、さらに社会人として必要な教養や生き方などの内容も含めながら、「人間力」を高める一助となるよう授業に取り組んでいます。





# 宮崎学園短期大学と諸団体との包括連携について



学長 久保 良一

国は、地域創生の旗印の下、各自治体や関係機関にそれぞれの取り組みを行い、全国が活性化するように促しています。当然、本学も地域に貢献する短期大学としてその使命の一翼を担っています。

今年本学では、本学の教育力と諸団体の地域・事業力

を融合させ、人材育成や課題解決等を図るために、今年度、諸団体との包括連携を締結致しました。締結した諸団体とは、①宮崎市②宮崎県商工会議所連合会③産学④宮崎大学⑤高大であります。

この協定は多様な分野で相互に協力し、地域の発展と人材育成を目指すことを目的としています。その連携内容は、「教育及び人材育成」「子育て支援」「福祉」「生涯学習」「まちづくり」「地域貢献」を主として多岐に渡ります。

本学は、質の高い人材育成に力点を置いて教育・研究を行ってまいりましたが、この諸団体と包括連携をさらに加速・進展させ、地域に貢献する学生を輩出する努力を致します。

今後とも、忍ヶ丘の地か

ら地域に貢献し活躍する人材育成を目指し、豊かな宮崎県づくりに尽力してまいります。さらなる皆様のご指導・ご助言を賜りたいと願っています。



KITENビル (宮崎県商工会議所連合会)



# 学科編成・紹介

## 保育科

地域に信頼される  
保育者を目指します

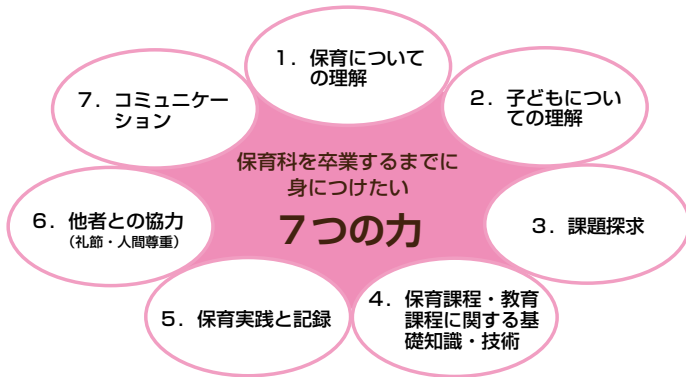
保育科は、豊かな人間性と教養を備えた保育士・幼稚園教諭の育成を図るとともに、広く地域に貢献する人材の育成を目標としています。

子どもを取り巻く環境や社会が急激に変化する中、時代のニーズにあつた保育や福祉の理念を身に付け、それを実践の中で体現できる資質を培うために、一年次には基礎科目を中心に、二年次にはより実践に即した科目を履修することで保育の知識や技術を深めていきます。

また教育実習や保育実習を通じて乳幼児の実態と保育現場の理解を深めるなど、現代の保育者にふさわしい児童観・人間観の確立を目指します。

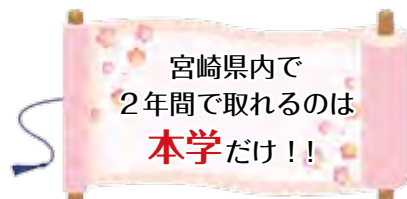
平成二十七年四月より本格施行の「子ども・子育て支援新制度」による「幼保連携型認定こども園」の推進において、宮崎県内では本学だけが二年間で保育士

国家資格・幼稚園教諭免許状の両方取得でき、就職にも大変強さを発揮しています。



### 2年間で取得できる資格・免許

- 保育士国家資格
  - 幼稚園教諭二種免許状
  - 社会福祉主事任用資格
  - こども音楽療育士
  - 音楽療法士 (2種)
- いずれか



# 現代ビジネス科

一年間を振り返って



現代ビジネス科学科長  
久保 良一

光陰矢の如しといわれるように、時の経つのは早いものです。教育活動の中で、学科生や教員も一年があつという間に過ぎ去つたのではないかと思います。

この一年の事業目標5項目について報告します。①授業内容の充実（1年前期から就職試験に向けた指導の強化）、現在、科目は、ブロック・ユニット型カリキュラムを設定しており、本人の学習状況に応じた授業を展開して成果を収めています。②資格・検定取得（基礎級から高次級取得）については、専門高校で履修した生徒には、高次の学習を、初めて学ぶ学生には基礎から科目内容を指導しました。今年の傾向は、上位の検定に挑戦する学生が昨年よりも増加しています。③進路支援の充実（質の高い進路先）、今年度の

労働市場は売り手市場になつており、多くの企業から募集がありました。学科の目標は、全員正社員として働くことにあります。また、医療系の事業所開拓も積極的に行いました。④実習指導の充実、インターンシップ、医療機関実習、図書館実習を行い、全員、無事実習を終え、多くの知識・技能を得、一回り成長しました。そして⑤定員充足推進を掲げ努力しました。各教職員の学校訪問等を通じて、学科の知名度が上がってきたと感じました。まんべんなく、各高校から受験してくれたのはうれしい限りであります。

5項目以外でも各団体との包括連携や宮崎県総合政策部の統計グラフコンクールにおいて、県知事賞、県教育長賞そして学校賞を受賞し、全国大会でも佳作賞をいただきました。発注プログラム（クラウドソーシング）においても県内企業10社と本学科生との間で、企業コラボを行い、課題解決や経営力等を学びました。さらに、学生たちがテレビやラジオに出演し、短大と学科のPRを致しました。

以上のように、この一年間、学科生や教員も一生懸命頑張つた一年でありました。

## 「クラウドソーシング活用 セミナー」(発注体験プログラム) に参加して



現代ビジネス科  
ビジネスコース1年  
椎屋 和代

今回のセミナーを通して、クラウドソーシングとは何なのかを知ることができたことは、とても良い機会だったと思います。このクラウドソーシングとは、Web上で企業が製作依頼を行い、全国のデザイナーの方たちに、アイデアを出してもらい、その中から会社にあったアイデアを採用するというシステムです。

今回、私たちは企業の方たちとチラシの制作依頼を作成する作業のお手伝いをさせていただきました。依頼を受けるデザイナーに「このようなチラシを作ってほしい」と伝えるために的確に文章に表すのはとても難しい作業でしたが、お互いに知恵をだすことで作成することができました。

また、礼節やビジネスマナー、PC操作など、この短大で学習していることを実践出来たことは、良い体験ができたと思えました。

このような貴重な体験を糧として、これからの授業もより一層頑張っていきたいと思えます。

## 教員紹介 ①



久保 良一

皆様には日頃から大変お世話になっております。本学での勤務は6年になりますが、将来、学生達が豊かな経済生活を送るためにはどうしたらよいかなど、常に教師集団と試行錯誤している毎日です。学生がこの学科でよかった、ここで学んでよかった、そしてこの学科を卒業してよかったという「よかった」「よかったね」と感じる、何度もいえる環境作りに全力投球しています。

## 教員紹介 ②



黒木 國泰

歴史学、環シナ海地域史、アジア地域研究、日本文化論を担当します。遙か昔の1977年に国文科に赴任しました。国文科は現代ビジネス科の前身です。専門分野は中国史、華僑学、環シナ海地域史です。皆さんとともに、21世紀東アジアの平和と発展を歴史的に考えていきたいと思えます。

### 教員紹介 ③



原田 真理

専門は平安文学です。本学国文科教員として着任以来、宮崎人になりました。現代ビジネス科では「日本語表現法」等の言葉関係の科目、一般教育では「文学」や「読む聞く書く話す入門」という科目を担当しています。



### 教員紹介 ④



武村 順子

医療事務・医療秘書コースを担当しています。研究室に入室し聞かせてくれる学生の「こいばな」は、私の楽しみのひとつです。そんな学生達に、担当する医療用語、健康と疾病、看護概論などの医療系の授業を通して、単なる知識ではなく、自分の健康を守る活きた知識として役立てて欲しいという願いを発信しています。そして、これから出会う大切な人や家族の健康も守れる女性に成長してくれることを期待しながら、日々がんばっています。

### 教員紹介 ⑤



児玉 京子

情報処理概論、プレゼンテーション

ン、ファイナンシャルプランナーを担当しております。昨年に引き続き今年も、国家資格であるファイナンシャルプランニング技能士の合格者ができました。また、授業の一環で作成し応募した統計グラフコンクールでは、全国大会での受賞や、県内企業のセミナーに学生を協力させる形で参加させるなどのサポートをしました。

本学科で学んだ事を活かせる場をこれからもサポートしていきたいと思えます。

### 教員紹介 ⑥



柳田 健太

ビジネスコースの柳田健太です。Web演習、情報処理論、販売学総論などの科目を担当しています。就任して2年が経ち、ようやく全体のことが見えるようになってきたところです。今年度は、新設された現代ビジネス科を多くの方々に知ってもらえるよう、学生と一緒に地域と連携した活動にチャレンジしてきました。今後も様々な活動を通して、学生と共に成長し

### 教員紹介 ⑦



齋藤 隆文

ていける学科であり続けられるよう尽力していきたいと思えます。

本年度より本学に着任した齋藤隆文です。出身は九州から遠く離れた宮城県の出身です。担当科目は「企業簿記」「情報処理概論」「ビジネス実務総論Ⅱ」等を担当しております。2年間という短い学生生活ですが、それぞれの学生が充実した学生生活を送れるようにしっかりとサポートしていきたいと考えています。



# 専攻科（福祉専攻）

本学には「短期大学・大学卒業生対象」の福祉のプロを育てる専攻科があります。

保育科・専攻科（福祉専攻）の三年間で、保育士・幼稚園教諭二種・介護福祉士の三つの資格を目指します。

少子高齢化が進む中、介護が必要な高齢者等の増加に伴い介護人材の需要が高まっています。団塊の世代が後期高齢者となる平成37（2025）年度までに248万人の介護人材が必要であると予測されています。このような状況の下、幼稚園・保育所にも高齢者の事業所を併設する施設が多く見られるようになり、宮崎県内だけでも50を超える施設で併設されています。本学の専攻科（福祉専攻）修了生は「介護福祉士」「保育士」「幼稚園教諭二種」の三つの資格が強みとなって、毎年11月末には就職100%を達成しています。

## <取得できる資格>

### ○介護福祉士

平成29年度より国家試験受験資格

## <修了後の進路>

- ・ 特別養護老人ホーム
- ・ 介護老人保健施設
- ・ 障がい者支援施設
- ・ デイサービスセンター
- ・ 保育園
- ・ 幼稚園
- ・ 児童養護施設 など



「介護」では、その人らしい専門的な生活支援をするために必要な技術や知識を学びます。

## 介護



## 人間と社会

「人間と社会」では、介護を必要とする方に対する全人的な理解や尊厳の保持、介護実践の基盤となる教養を学びます。

## こころとからだのしくみ

「こころとからだのしくみ」では、介護をバックアップする知識として、介護実践の基盤となる観点から、医学、リハビリテーション、心理等の知識を学びます。



# 専攻科(音楽療法専攻)

専攻科(音楽療法専攻)学級主任 後藤 祐子



専攻科(音楽療法専攻)が宮崎学園短期大学に誕生したのは、2002年(平成14年)のことです。これまで数多くの音楽療法士を送り出してきたこの音楽療法専攻は2016年(平成28年)3月で幕を下ろします。専攻科終了の時を迎え、15年間の月日の中で、たくさんの学生がこの忍ヶ丘の地に集い、音楽で人の生活を豊かにしたいと音楽療法を学んできたその熱い思いを感じています。現在、担任をさせていただいている私も、この音楽療法専攻で学んだ学生のうちの1人です。

自分の好きな音楽

で何ができるのか知りたいと思い入学し、音や音楽の力を自分自身が体験し音楽療法の理論や実践を幅広く学ぶ中で、人の役に立つことができることが何にも代えられない喜びであることを知りました。この専攻科で出会った先生方や学友、そして学んだ音楽はかけがえない宝物です。ここで学んだすべての学生が、自分の音楽でそれぞれの道を歩み続けます。これからも、蒔かれたたくさんの種が根付き、花開くことを願っています。





# オープンキャンパス

オープンキャンパスは、本学に興味をもっている高校生やその保護者をキャンパスにお招きして本学での学びや学生生活についてお伝えするとともに、在学生や先生方との交流を通して本学をより身近に感じてもらうい、安心して入学してもらうために行う本学の年間行事の中でも最も重要なイベントの一つです。

今年の実行委員は教職員14名で構成された「オープンキャンパス検討委員会」。年間を通して5回の会合をもち、前回の反省や新しい企画など議論を重ねます。会議で話し合った内容は学科会に繋がりますので、結局全教職員が関わることとなります。

教職員だけでなく在学生も当日の運営で重要な役割を担っています。当日朝に宮崎駅、南宮崎駅、清武駅にお迎えに行くバス係、参加者をお迎えする受付係、オープンングセレモニー会場にご案内する誘導係、冷たいドリンクを配る飲料水係、その他にも図書館での案内、しおりやブックカバーを作る者、先生方の補佐役として体験授業に入る者、礼法室「明教庵」で抹茶とお菓子をふるまう茶道部メンバーなど、1年生を中心に多くの学生が携わります。これら学生が殆どが高校生の時にオープンキャンパスに参加した体験者たちです。今度は自分が短大生として高校生を迎える立場になって、「私たちが学ぶ短大のいいところをいっぱい知ってもらいたい!」とそれぞれの持ち場で張り切って取り組んでいます。

前日は学長先生を筆頭に全員でテント張りやオープニングセレモニー会場の設営、横断幕やのぼり旗の設置を行います。集合時間ぴったりに全教職員が揃い、開始の合図で一斉に作業がスタート、てきばきと準備が整う様子を見るにつけ、本学の「団結力」

「チームワークのよさ」を実感します。そして当日は早朝から最後の飾り付けのチェックをして、参加者を出迎えます。たくさん来られるかな、とちょっぴりどきどきしながら。

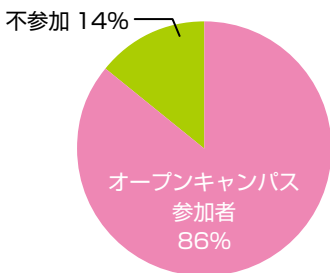
今年度、夏のオープンキャンパスは7月5日と8月2日の2回開催しました。開催時間は午前9時半から午後1時まで。学長挨拶や大学概要説明、卒業生体験発表などによる全体会の後、希望する学科で「ミニ講義」や「展示」「入試相談コーナー」に参加してもらい、並行して茶道部が明教庵で「お茶のおもてなし」、最後に「学食体験」で腹ごしらえをして流れ解散という内容でした。

2回ともたくさんの高校生と保護者にご参加いただきました。参加者数は次の通りです。

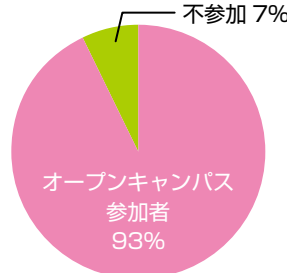
	7月 参加者数	8月 参加者数	合計 参加者数
高校生	163名	214名	377名
保護者	91名	109名	200名
合計	254名	323名	577名

本学の受験者のオープンキャンパス参加率はインタビュー入試で93%、推薦入試で86%と非常に高く、受験校選択に重要な役割を担っていると考えられます。

## 推薦入試



## インタビュー入試





全体会で宗和学長が熱く挨拶



保育科卒業生の体験発表



現代ビジネス科卒業生の体験発表



保育科体験授業で係学生が読み聞かせ



現代ビジネス科について久保学科長が説明



全体会の後は係学生の誘導で体験授業へ



後藤祐子先生の保育科体験授業



現代ビジネス科 タブレット端末を使って説明する学生



ロビーには七夕にちなんで笹飾り



茶道部によるお茶のおもてなし



なんでも相談コーナー



係学生仲良く作業中



図書館でにこやかに応対する係学生



楽しい学食体験タイム



お疲れ様でした！またお会いしましょう！



# 保育フェスティバル

保育フェスティバル実行委員

後藤 祐子

平成27年10月24日(土) 本学  
平成27年11月28日(土)

イオンモール宮崎2Fイオンホール

宮崎学園短期大学保育フェスティバルは今年で8回目の開催でした。地域の方々にも親しんでいただき、毎年、このフェスティバルを楽しみにしてくださる方も多く本当に嬉しく思っています。保育フェスティバルでは、保育科1年、2年の各クラスより選出された保育フェスティバル委員が中心となり、自分たちで企画から実施までを行います。まず「0・1歳児」と「2歳以上児」の遊びのコーナーに担当を分け、子どもたちが楽しめる遊びを考えていくことから始めますが、子どもの発達に合わせて遊び場をつくっていく作業は大変難しく、学生たちも苦戦していました。しかし、年間で7回の委員会を持ち、2年生の委員が中心となり、実習の経験を基に、子どもの姿を想像しながら計画を練っていく中で、少しずつプログラムが出来上がってきました。開催前には各クラス2回のリハーサルを行い、実際の遊び場を設定して実践する中で、課題を発見し改良していくという過程を繰り返し、本番に臨みました。実習経験のない

1年生は自分たちがができる製作物などの準備を行う中で、2年生の先輩の姿から多くのことを学んでいたと思います。このようにして1年生・2年生の委員が一体となり協力して準備し保育フェスティバルの開催となりました。当日は、本学、イオンホールともに多数の来場があり盛況でした。子どもたちが長い時間楽しんで遊んでくれて、子どもたち、保護者の方々の笑顔もたくさん見ることができ、本当に楽しいフェスティバルとなりました。これからも、この保育フェスティバルを通して、学生と教員が一体となって地域貢献できればと思います。



第8回保育フェスティバル

時間	0・1歳児	時間	2歳以上児
10:00～11:00	親子ふれあい遊び(本学) エンジョイ親子遊び(イオン)	10:00～11:00	新聞紙で遊ぼう
11:00～12:00	親子で遊ぼう	11:00～12:00	パニックアドベンチャー
12:00～13:00	自由遊び	12:00～13:00	ミニコンサート
13:00～14:00	親子ふれあい音楽遊び	13:00～14:00	音楽遊び(本学) 動く。歌う。遊ぶ。(イオン)
14:00～15:00	親子ふれあい遊び	14:00～15:00	鬼退治に行こう!
終日:製作コーナー 皿回し(本学) サンタさん(イオン)			

〔保育フェスティバルプログラム〕



私は二年連続で保育フェスティバル委員を努めることになりました。一年生の時は主に先輩方のサポート役をしました。主役として臨む今回の保育フェスティバルは段違いの大変さでした。また私はクラス委員を引っ張っていく役目のクラスリーダーになり、その役目をしっかり果たすことができるかという不安もありました。最初の課題は遊びの内容決めでした。昨年度のを参考にしながら取り組んでいきました。決めていくなかで、この遊びは参加する子ども達の年齢に合っているか、時間配分はどうするか、準備するものはあるか、誰がどこを担当するのか等考えなければならぬ事が沢山あり、とても苦労しました。また練習を進め

ていくなかで委員同士で話し合いを重ね、活発な意見を出し合う事で新たな発見に気付く事もあり、より内容を深めることができました。先生方からも多くのアドバイスをいただいたことでした。準備をして本番に臨むことができました。保育フェスティバル当日は緊張と無事成功できるだろうかという不安で一杯でした。出番以外の時間も委員同士で段取りの確認をし、本番をむかえました。始めると子ども達の反応も良く楽しんで遊びに参加してくれてとても嬉しく思いました。委員の人達も全力で精一杯取り組んでくれたことで自分の想像を超え、る良い保育フェスティバルになりました。一緒に頑張ってくれた委員、仲間、先輩達に改めて感謝しました。本番では困った場面もありましたが、先生方の助け船もあり成功に繋がりました。本当にありがとうございました。

今回の保育フェスティバルでは大変なこと、うまくいかないことが多々ありましたが、それ乗り越えることができた分、やり遂げた後の達成感、充実感

ははんばなものではありませんでした。内容の計画・準備・実行と進めていくなかで仲間との協力の大切さを知り、子ども達との関わりのなかで自分の課題も多く見つけることができました。今後はクラスリーダーとして保育フェスティバルに参加した経験を活かし、自分の目標とする保育士に近づいていけるよう頑張っていきたいと思えます。



保育研修会担当

教授 中武 亮子

今年度で7年目を迎えた本学の「保育研修会」を7月12日(日)に開催いたしました。毎年地域の幼稚園、保育所の先生方と一緒に学べることはないかと試行錯誤しながら開催してまいりましたが、昨年度からは、「音や音楽の遊び」をテーマにしています。先生方自身がさまざま



な声や楽器の音を出すこと、音を聞きながら動くこと、音楽と共にイメージして描くことなど、五感を通した乳幼児の音楽遊びを体験いただく中で、音楽の楽しさ、心身に与える影響について実感いただけたのではないのでしょうか。

本学園の山下恵子理事長が、「音や音楽を使った活動で高められる力」に「つながり力」「からだ力」「かんかく力」「あそび力」

(山下・2014)がある」と提唱していますが、研修会当日の先生方はこれらの力を十二分に発揮されており、そこには、日頃多くの子どもさん達と生き生きと過ごされる姿が見えました。

今後も本学は、地域への貢献を目指して研鑽を積み、研修会を開催していきたいと考えています。

参考文献：山下恵子2014年「第4章 音楽療法実践の領域」『音楽療法ハンドブック』(P.27～P.29)



中島恵子「はらっぱ de 楽譜集」  
宮崎学園短大保育研修会 2015年版



## 平成27年度 教員免許更新講習

今年度も、8月26日から29日の4日間にわたって、教員免許状の更新講習が行われました。初日から台風による延期となり心配しましたが、何とか無事に行うことができました。

幼保一元化の流れも影響し、今年度は40名の募集に対して100名以上の申し込みがありました。受講された現場の先生方、講義をされた先生方には窮屈な教室であったと思いますが、そのような中で有意義な講義を行っていただき感謝申し上げます。

幼児教育の現場における諸問題や、音楽や造形と言った技術面など、この講習は教員免許保持者の義務でありながらも大変重要で且つ効果的な講習であります。今回の講習が、現場の先生方の日々の保育に効果をもたらしてくれているものと思います。



次年度の教員免許更新講習からは、一部内容の改定が行われ、必修領域が「必修科目」と「選択必修科目」に分けられるなど大きな変化があります。地域に根ざし地域に貢献する短大として、さまざまな変化に対応し、次年度以降もしっかりと教員免許更新講習を行っていきたいと思います。

## 保育士資格取得特例講座

二年目となる今年度の保育士資格取得特例講座は、本学の学年暦変更に伴い、五月から十二月までの原則第二、第四

土曜日に実施しました。開講科目は、「乳児保育」と「相談支援」で、昨年度と合わせて

特例科目四科目を開講したことになります。幼稚園教諭の先生方は、忙しい仕事の合間を縫っての受講でしたが、意見交換の際など子どもの実態をふまえた活発な議論が続き、時間が足りなくなるほどでした。ほぼ四十名の定員いっぱいを受講者があり、充実した講座となりました。受講者の方からは、楽しく有益な時間だった、よい刺激をもらった等のお声をいただいています。

保育士資格の取得特例制度は、幼稚園教諭としての実務経験年数等制限があり、またこの制度による保育士試験受験期間にも期限があります。



制度の詳細については、厚生労働省のホームページをご覧ください。

来年度の本学の特例講座については、決まり次第本学ホームページに掲載いたします。

# 生涯学習推進委員会



## 平成27年度 宮崎学園短期大学市民講座

### 「いきいきシニアセミナー」

生涯学習推進委員 倉岡 豊実

平成27年9月9日・16日に健康をテーマとして「いきいきシニアセミナー」の市民講座が開催されました。

第1回目は「楽しいことばで若返り」〜フォト5775に感動〜というテーマでした。

「フォト5775」とは、小学生の子どもたちが、写真を見て感じたことを「575」の言葉にして表現したものを基に、例えば「へびの抜け殻」の写真に「こらへびよ ぬいだらちゃん」とたたみなさい」という575に、受講者皆さんがこの表現に「発想がおもしろい。日頃の生活が垣間見えクスッと笑える」「大人ではこの表現はできない」「575の短い言葉の中に家庭の躰子ども様子が伺えて楽しい」など。また、地域の方が旗を持ち見守る姿の写真に「横断中 JA共済 協力中」の575の感想は「子どもは大人が気づかないところをしっかりと見ている。」「旗をよく観察している。家族にJA関係がいたのも驚きである」など受講者は、子どもたちの直観力、想像力そして素朴で素直な表現力に言葉のもつ素晴らしさを改めて感じられたようでした。そして何より楽しいことばに若返

りを感じ、脳トレ・ニングにも繋がったと思います。

第2回目の「プラス10分でのばそう健康寿命」〜ロコモ予防〜は、生涯自立、いきいきシニア世代を過ごしたい、転倒予防の知識を得たいなど、参加者それぞれの思いを受けての講座となりました。近年話題となっている「ロコモ予防」という言葉ですが、楽しみながら「なるほど」と納得し、身近に感じて、「これならやれる。」と継続をいただけるような内容の紹介に、メモを取りながらの真剣な眼差しと、笑顔に包まれた時間となりました。「本などを見て理解するよりも、頭に入りやすく、やる気も増してきました。」「こんなに簡単にできるのに今までしていませんでした。いかに衰えない体づくりが必要かを実感しました。」「とっても気が楽になったロコモ予防でした。たったの1日プラス10分です。」など充実した感想もいただきました。また、この講座で勉強したことを「地域の方々にも広めていきたい」と、まさに「いきいきシニア」を象徴する感想を頂き、担当をさせていただいた私どもが刺激と元気をいただきました。ありがとうございました。



「こらへびよ ぬいだらちゃんと たたみなさい」



「横断中 JA共済 協力中」

ございました。最後は、受講者同士のコミュニケーション作りとして「ビンゴゲーム」を行いました。初対面の方々がいっしょの間にか打ち解け、笑顔一杯で楽しんでおられる様子が印象的でした。

# 「子育て支援セミナー」

生涯学習推進委員

後藤 祐子

平成27年9月2日(水)、3日(木)の2日間にわたり、宮崎市清武地域子育て支援センターを会場に「宮崎学園短期大学 子育て支援セミナー」を開催いたしました。このセミナーは、0・1歳児の親子を対象に「親子ふれあい音楽遊び」と題して行われ、2日間で合計117名の参加がありました。

音楽遊びの中では、親子のふれあいを目的とした手遊びや歌遊びに始まり、音楽に合わせて動く活動や楽器を使った活動など、盛りだくさんの内容で楽しく親子で過ごしていただけではないかと思えます。また、本学の特徴のひとつである「ボランティア実習Ⅰ」科目の履修学生が、絵本の音付けやパネルシアターを演じ楽しいひと時となり、学生にとっても実際に子どもたちと遊び、子どもの姿に触れる貴重な機会となりました。

セミナー実施後のアンケートには「体を動かして遊んだり、楽器を使って遊んだり、普段できない遊びができました。」「たくさん音楽が聞けたり、触れ合い遊びができて良かったです。」「学生さんが目を合わせて笑ってくれたりして良い経験になりました。」「などの感想が寄せられました。

ました。  
本学の特徴を生かし、地域に貢献できる短大であり続けるよう、今後継続して様々な企画を実施していきたいと思えます。



「子育て支援セミナー」H27. 9. 2

# 「ニューライフ・アカデミー」

生涯学習推進委員長

花畑 明美

宮崎学園短期大学市民講座のニューライフ・アカデミーが2月17日・24日の2日間で開催されました。

第1回は、本県を代表する陶芸家で本学の講師でもある泰田久史先生が「楽しいスペシャル陶芸」という演題で、前半は、「知られざる古窯」について日本の陶芸から宮崎県の陶芸について話されました。中でも幻

と呼ばれた小峰焼の歴史と発見・復活と再生への取り組みは、大変興味深いもので、受講者の方々は真剣に聞き入っていました。

後半は、スペシャルと言われている小峰焼の貴重な土で思い思いの皿や、湯のみ、ぐい飲みなどの制作を楽しむように、無心に取り組みました。受講生からの感想にも、「宮崎の焼き物が古くからあったこと、泰田先生が復元した小峰焼の生い立ち、面白く感動しました。」「童心にかえり、心から楽しく作品に取り組みました。泰田先生がとても親しみやすく、焼き上がりがとても楽しみです。又の機会がありますように。」とありました。

第2回は、音楽療法士で本学教授の中武亮子先生が、「音や音楽で楽しくコミュニケーション」をテーマで開催されました。

音楽に合わせて受講者の皆さんの自己紹介でスタートし、受講者自らが叩く軽快な太鼓のリズムに合わせて「ひなまつり」や「早春賦」、「上を向いて歩こう」を歌いウオーミングアップに始めました。体をつかってマンボ・氷上のワルツでコミュニケーションを図り、最後は、参加者全員で「まんじゅうこわい」を演じて大盛況でした。

両講座終了後は、「このような講座をもっと開催して欲しい。」「次回

も是非参加したいです。」と参加者の皆さん同士別れを惜しみました。委員会では、来年度以降も地域の方々に喜ばれる講座を企画して参りたいと思っております。ぜひご参加ください。新校舎でお待ちしております。



「楽しいスペシャル陶芸」H28.2.17



「音や音楽で楽しくコミュニケーション」  
H28.2.24



## 学友会活動



### 「学友会活動を通して」

学友会会長

保育科 二年A組

入佐ひかり

学友会として初めて活動をした時、私は今までにないくらいの達成感を感じたことを覚えています。

様々な行事の運営に携わる中で、多くの学友や先生方が一生懸命に準備、片付けに取り組み協力し、よりよいものになっています。



こうと一致団結する姿を見るのができました。「楽しかった」「ありがとう」この言葉が聞ける時が私たち学友会にとって嬉しい時でした。

学友会に入って出会えた執行部の皆、ご協力いただいた教職員の方、本当にありがとうございました。学友会として活動した日々はかけがえのない思い出となりました。

### 「学友会活動」

学友会副会長

保育科 二年B組

金丸 奈央

秋の忍ヶ丘祭も無事に終了しましたが、学友会では秋の忍ヶ丘祭が終わった後も、近所への挨拶回りを行ったり、各企業へ支払うお金を集めたり、忙しい日々が続きました。しかし、そのような状況であったからこそ学友会メンバーとの良き思い出が増え、充実した日々を送ることが出来たのだと思います。

私が学友会活動に挑戦したいと思ったのは、一年次にクラスの秋の忍ヶ丘祭実行委員をした際、学友会の方たちがどんな些細なことでも親身になって教えてくださったことがきっかけでした。入学当時は、学友会という組織についてもあまり認識しておらず、また、人前で話すことが苦手で、それを克服したかったという理由もあります。初めの頃は不安でしたが、学友会活動を始めてすぐに卒業式、謝恩会、入学式、春の忍ヶ丘祭などの行事がありました。行事

の度に早朝からの準備を行った。時には夜遅くまで準備に追われたりという日々がありました。その全てが学生時代の今しか味わえないものだったように思います。

間もなく私たち二年生は卒業します。春には新たな学友会メンバーでの活動が始まりますが、これまで培ってきた学友会の伝統を守り今後も活躍してくれることを願っています。



## 「五十周年の節目に」

学友会副会長

保育科 二年C組

島澤 あい

また、桜の咲く季節がやってきます。

あの時芽吹いた「笑顔」や「友情」や「絆」の花は、まだ咲いていますか？充実した毎日や楽しい行事を仲間たちと共に過ごしていることでしょうか。

桜が咲いたら、私たちは別々の道を歩みはじめます。この五十周年の節目の年に、ここにいる全ての人に出会えたこと。共に育っていったこと。全ての偶然に感謝が尽きません。

「五十一年目」という新しい年に、どんな素敵な出会いが待っているでしょうか。きつと来年咲く花もこの忍ヶ丘の地が、優しく見守ってくれることでしょうか。



## 「学友会の思い出」

春の忍ヶ丘祭実行委員長

保育科 二年C組

那須 尚暉

一年間を通して、学友会で様々な活動を行いました。

春忍では春忍実行委員長をし、全体を把握する大変さや仲間の協力の大切さなどリーダーという役割の大きさや達成感を味わうことができ、秋忍では、ステージでの司会をし、業者と

の連絡やスケジュール通りに司会する大変さを味わうことができました。

春忍も秋忍も開催するまでにたくさん時間をかけて準備し当日を迎えるので、終わった後は達成感や充実感が生まれ、とてもやりがいのある仕事です。

これも、学友会メンバーや先生方のお陰で、行事を楽しみむことができたのだと思います。

## 「秋の忍ヶ丘祭を終えて」

秋の忍ヶ丘祭実行委員長

保育科 一年D組

杉山 夏季

今年度も天候に恵まれ、盛大に秋の忍ヶ丘祭を開催出来ました。心より御礼申し上げます。記念すべき五十回という節目を迎え、プレッシャーもありましたが学友会メンバー、諸先生方、地域の方々、企業の方々のご協力もあり一人ひとりが思い出に残る秋の忍ヶ丘祭になったと思います。

私自身も様々な経験や失敗をくり返し、仲間と感動を共有出来たことを嬉しく思っています。

本当にありがとうございました。







## 保育科

## 「実習を通して

## 学んだこと」

保育科 二年C組

皿良 美琴



学生生活での実習全てを終えた今振り返ってみると

得てきた学びの多さを改めて感じます。特に勉強になったのは日誌の書き方と喧嘩の仲裁です。一年生の実習の時、私は喧嘩の仲裁で大きな失敗をしてしまいました。子どもと関わる上で重要な「お互いの言い分を聞き、気持ちを受け取る」ということができず、仲裁どころかその子との信頼関係も崩れてしまったのです。子どもの思いを汲み取れなかったこと、気持ちを踏み躪ってしまったこと。今でも悔いが残っています。それから実習を重ねるうち、傾聴するとはどういうことか、分かってき

ました。私達が聞こうとすれば、子どもは一生懸命語ります。その言葉は拙く、要領を得ないことも多々ありますが、保育者がじっと耳を傾け、受け取っていくことが大切だと思いました。それに伴い、日誌の内容もより子どもの目線に合わせたものになりました。実際に子どもと関わると、学校の講義では見えてこなかった子どもの様子や配慮がたくさんあります。それを日誌に記すことで新たな気付きを見つけることができました。

この二年間で臨んできた実習は、一生忘れることのできない貴重な経験となりました。四月からプロの保育士です。実習で学んだことを活かし素敵な先生を目指したいです。



## 「社会人／専攻科進学に向けて」

保育科 二年E組

佐分 智樹



宮崎学園短期大学で過ごした二年間で保育士の知識

や技能、実習では研究保育を行い、より実践的な力を身に付けてきました。そして同じ夢を志した仲間と支えてくださる教職員の方々と充実した日々を過ごしてきました。特にクラスの仲間にはとても助けられ、ここまで来られたのも彼らのおかげです。本当に感謝しています。

これから保育園や幼稚園に就職する学生は多くいますが、私は専攻科福祉専攻に進学することにしました。以前は専攻科に進学することなど考えてもいませんでしたが、実習先の先生に「もっと多くの事に興味や関心を持って、幅広く知識を身に付けなさい。それがきつとあなたの力になるから。」とお言葉をいた

だいたことがきっかけでした。確かに幼稚園教育実習で痛感した指導力不足には、私の知識の無さや様々な事への経験不足が原因でした。これでは学校で学んできた事を保育の現場で活かすことができません。より多くの知識を得て、自分の保育の力にしようと考えました。その第一歩として専攻科を選びました。進学への不安はありますが、自分で選んだ道です。夢に向かって真っ直ぐに突き進みます。



「短大生活を

振り返って」

保育科 二年F組  
原口 梨紗



この短大での二年間は、本当にあつという間でした。今、振り返ってみると、充実した時間を過ごせていた証拠だと感じます。期待と不安を抱きながら入学した二年前、そこにはたくさんの素敵な出会いが待っていました。私は社会人枠で入学したのですが、歳の離れた友人たちとの学校生活は、とても新鮮で、自分が相手を知ろうとすることで、相手も心を開いてくれること、お互いを知ること、信頼も深まっていくことを学ばせてくれた貴重なものでもありました。そんな友人たちと授業や多くの実習に取り組みながら保育士という夢に向かって頑張ってきました。子どもたちの優しさや、成長を見守ることのできる嬉しさを味わう中で、子ども

もと関わる仕事の素晴らしさを改めて実感することができました。愛情深い先生、楽しい友人たちと共に過ごしてきた時間、そこでの出会いや経験を、これからの自分の基盤にして、自分の目指す保育者になれるよう、頑張っていきたいと思います。最後に、ここぞという時には更に団結を強める、優しさを溢れるFクラスのみんな、それをあたたく見守り、いつも私たちを信頼して向き合ってくれた先生に、ありがとうございます。伝えたいです。

「二年生に向けての抱負」

保育科 一年B組  
木村 遥香



私の夢は保育士になる事です。小さい頃お世話になった先生に憧れ、この職業を目指そうと思いました。先日、みどり幼稚園に一週間

実習に行った際に、日誌の書き方や子どもに対しての声掛けや接し方、また一人一人に合った援助等改めて自分の力不足を実感しました。特に援助の面では、子ども達の発達を邪魔しないようにどのよう「促す」という方向に持っていくべきか考えながら行いました。また、学んだ事の一つとして、自分の意見をしっかりと持つべきだと思いました。子ども達は保育者の表情を見てるので、何かあった時おどおどしているとその不安が子ども達に伝わってしまいます。何事にも常に自分の意見を持ち、それを行動に移せる力を身に付けていきたいと思いました。そのためには、これからお世話になる実習先での経験や日々の授業の内容を現場と照し合わせ、どういう事が起こりやすいかを想定し、どのような対処が最善なのか考えておく事も大切だと思いました。

まだまだ足りない部分はありますが、この宮崎学園短期大学での生活を充実したものにしたと思います。





## 現代ビジネス科 ビジネスコース

### 「インターンシップに参加して」

現代ビジネス科  
ビジネスコース 一年

加那屋 茉莉



私はインターンシップで  
労務事務所の実習に参加

しました。実習の内容はパソコンの入力や資料作成をするのかと思っていました。ただ、それだけではなく給与計算や顧客の訪問などと様々なことを体験しました。事務所は常に電話が鳴っており、電話対応がきちんとできなければならぬと思いました。社員の方の対応を聞いてみると、いつも落ち着いていて、聞いているだけでも勉強になりました。その他にも、挨拶や丁寧な言葉遣いなど学ぶことはたくさんありました。そして、この事務所はチームワークがあり、

雰囲気も良く、私もこんな事務所  
所に勤めたいと思いました。

インターンシップは職場見学  
とは全く違い、自分もその会社  
の一員として働きながら様々な  
ことを学ぶものでした。この五日間を通して、私に足りないものが改めてよく分かりました。この貴重な体験を、将来自分が就職したときに活かしていきたいと思えます。



### 「図書館実習に参加して」

現代ビジネス科  
ビジネスコース 二年

切畑 薫



九月十四日から二十五日までの七日間、  
宮崎県立

図書館にて実習をさせていただきました。普段なら決して目にするのでできない図書館の裏側を見られるということを楽しみにしていました。

実習では、カウンター業務を始め排架作業や選書、図書館の役割について実践的に学びました。授業だけではわからない、普及支援活動の様子や幾百年も昔の郷土資料を読み解く専門職員の仕事の素晴らしさに感嘆しました。図書館学の講義を受けていても、実際にどのような仕事をしているのか、どのような仕組みなのかについては見えな部分が多々あります。実習ではそういった、外からは見えな



いけれども、とても大切なことを学ぶことができました。さらに今まで自分の中に蓄積されるだけだった情報が実習の中で生かされ、新たな発見に繋がる良い機会になったと感じています。今回の実習に参加したことで、講義もすんなりと理解できるようになり実りの多い体験になりました。

「この一年間を  
振り返って」

現代ビジネス科  
ビジネスコース 一年

岩崎 翔子



一年間  
の授業を  
通して、  
特に礼節  
や勤労で  
は、社会

人の準備として礼儀作法や働く  
ことの意義を学ぶことができた  
した。その他の授業でも、先生  
方がとても一生懸命で、一コマ  
一コマの授業が将来に繋がって  
いく大切なものだと実感するこ  
とができました。授業の中には、  
人前に立ってのものもあり、人  
前で話すことが苦手な私にとっ  
ては、とても良い経験になりました。

また、検定試験にも挑戦しま  
した。現代ビジネス科は、多くの  
検定を取得することができると  
ので、今後も一つでも上の検定  
に挑戦して合格を勝ちとります。  
この一年間を振り返ってみると、  
春の忍ヶ丘祭や秋の忍ヶ丘

祭等の行事がありました。春の  
忍ヶ丘祭は四月にあり、新しい  
出会いや環境の中だったので、  
とても緊張したのを覚えています。  
秋の忍ヶ丘祭では、クラス  
で演劇をしました。クラスの皆  
と放課後の練習を重ね、当日は  
楽しんですることができました。  
最後に、二年生では就職活動  
も始まるので、希望する職業に  
就けるように自分の強みをもつ  
と増やす努力をしています。



「短大生活を  
振り返って」

現代ビジネス科  
ビジネスコース 二年

濱砂 勇二



今年一  
番印象に  
残ってい  
るのは、  
友人達と  
一緒に取

り組んできた卒業研究です。

私達は「学生にできる地域貢  
献」を題材に、地域貢献とは何  
かについて調べること、全学生  
を対象に地域貢献について意識  
調査を行うことからスタートし  
ました。アンケートの作成や集  
計などはとても苦労しましたが、  
「地域貢献について考えている学  
生が少ない」や「生まれ育った  
地域に貢献したい学生が沢山の  
いる」という実状を知ることがで  
きました。さらに調査結果を一  
枚のポスターにまとめ、宮崎県  
統計グラフコンクールに応募し  
ました。その結果宮崎県教育長  
賞を受賞できたことは今でも良  
い思い出です。12月には大学生  
の研究発表大会に出場し、多く

の方々との意見交換ができて  
も貴重な体験になったと感じて  
います。

今、最終段階として卒業論文  
完成に向け取り組んでいます。  
苦しいこともありましたが友人  
達と協力し、一つの物事を成し  
遂げる経験ができたことは自分  
の成長に繋がるとも良い学び  
になりました。





現代ビジネス科 医療事務・医療秘書コース

「医療事務とは？」

医療秘書とは？」

現代ビジネス科  
医療事務・医療秘書コース  
二年コース主任

武村 順子



医療事務は、主に「診療報酬請求事務」という医療

機関の収入に関わる事務作業であり、医療秘書は、外来や病棟、検査課などで、医療専門スタッフが動きやすいようにサポートする職務全般を指しています。(図1) 医師をはじめとした医療専門資格のように法律規定がないため、呼び方も医療機関により様々です。特に医師の事務作業をサポートする「医師事務作業補助者」は加算がつく制度もあることから、医療秘書業務として注目されることが多くなりました。



図1. 医療秘書は部門をまたいで医療専門職をサポート

本コースでは、日本医師会認定医療秘書受験の基礎資格として診療報酬請求事務検定をとらえています。そのため、医療機関実習では、医事課のみの業務ではなく、外来や病棟、検査課、地域連携室、腎透析などの特殊治療室などでの業務も経験できるようになっています。今後、医療業界では専門スタッフの確保と情報の電子化が一層の課題となります。医療秘書は医療機関になくしてはならない職務になると思われます。

「医療機関実習Ⅱを終えて」

現代ビジネス科  
医療事務・医療秘書コース 二年

黒木 梨加



私は「医療法人社団 孝会 上田脳神経外科」で十

日間の実習をさせていただきました。上田脳神経外科は、十九床以下の「クリニック」にあたる施設です。最新設備や様々な資格を持つ医療スタッフが揃っており、大きい病院と変わらない機能を備えています。実習では私自身が学びたいことを軸にタイムスケジュールを組んで下さいました。例えば、受付業務として初診患者様のカルテ作成や保険証の確認、また患者様と直接話す機会や電話対応する体験をさせていただきました。さらに病棟や外来のクラークの方にお話を聞けました。記録や挨拶、立ち振

る舞いなど、厳しいお言葉やご指摘もいただき、自分を見直す機会となりました。

ご指導に対する感謝の気持ちを伝えるために、お世話になった方全員に短い文章ですがお手紙を書きました。この実習で自分には未熟であり意識を変えていく必要があることを学びました。学んだことを胸に刻み就職活動に臨みます。



「体験は自分を

成長させる！」

現代ビジネス科

医療事務・医療秘書コース 一年

二原 由奈



入学して一年、本学科で幅広い分野を学び、多くの知識や技術を身につけることができました。その中でも特に自分のためになったと感じたのはキャリアガイダンスIIの授業です。この授業では、担当の学生が前に立って他の学生に対してSPI2の問題を教えます。私はたくさんさんの人の前で話すことがとても苦手でした。しかし、この授業で人の前で発表するということを経験し、少しずつですが、苦手意識がなくなってきました。このような機会を与えていただき良かったです。

また、本学では春の忍ヶ丘祭（学科別対抗綱引き優勝しました）や秋の忍ヶ丘祭（フライドポテトを販売しました）といっ

た行事があり、協力することの大切さを学ぶことができ、クラスの間もいっそう強まりました。

あっといふ間の一年で充実した短大生活を過ごすことができ、とても良い思い出になりました。二年生になったら、勉強などにこれまで以上に力を入れて一日一日を無駄にしないように過ごしていきたいと思います。

「二年間を通して

学んだこと」

現代ビジネス科

医療事務・医療秘書コース 二年

石脇 奈菜



私たちは医療事務・医療秘書コースでは、就職に向けて必要なビジネス全般の科目や医療の専門科目、資格取得に向けての勉強に励んでいます。二年度の医療機関実習では、診療報酬請求事務、医療専門用語、患者対応や電話対応の仕方など、講義で学んだことを医療機関の現場で体験しました。

私たちが学習していることは、患者様と直接対応する内容に繋がっているため、現場では患者様の気持ちになって対応しなくてはなりません。実習を振り返ることで、その時自分はどう思っていたのかなどを声かけをしたのかを考え直す機会にもなりました。患者様のことはばかりでなく自分の健康についても考え学ぶこと

ができ、医療のことが身近に感じられるようになりました。

私は、医療機関への就職も考えていましたが、一般企業にやりがいを感じ、就職することを決めました。今まで医療系について学んできましたが、企業で役立つこともたくさんあります。今まで学んできたことを活かす、頑張りたいと思います。





## 専攻科

## 「福祉専攻での一年と私」

一年と私

専攻科 福祉専攻

萩原 楓子



私は専攻科で一年間学ぶことができて良かったと心

から思っています。

私は正直、短大二年の時に進路を迷っていました。しかし、色々な人に相談し介護について学ぶことを決め、今までとは違った専門的な学びをすることができ充実した一年となりました。

まずは、専攻科で出会った先生方や友人に感謝の言葉を伝えたいです。この一年、お互いに高め合えたこと、常に真摯に向き合ってくれたこと、同じ志を持った学友は私の大きな力となりました。また、実習で支え合い学校行事では力を合わせ、ここぞという時に一つにまとまり

乗り越えることができました。

そして、介護という専門分野での講義や演習、実習で学びを深めることができました。保育科でこれまで子どもを対象とした学びをしてきましたが、更に高齢者や障がい者を対象とした介護についての知識を深めていくことで医学的知識や演習での実践が、実習の中で一つひとつ繋がりが多くのことを吸収することができました。また、実際の介護現場で実習を行うことで、もっと知識を深めていきたいと強く思いました。

専攻科修了後は、それぞれ違う道に進みますが、この一年の学びは私達の糧となり、将来に繋がる大切な時間だったと信じています。



## 「充実した一年間」

専攻科 福祉専攻

永田 昌也



専攻科に入學してあつという間に一年がたちました。

保育科を卒業して、また新たな学友と過ごすこの一年はとても充実したものでした。

日々の講義や演習授業では、介護福祉士になるための知識や支援技術を学びました。また、介護実習では特別養護老人ホームや介護老人保健施設などで介護現場の実際、介護福祉士の職務内容を学ぶことができました。中でも三度目の実習では担当利用者を受け持ち、どうすれば担当利用者にとってよりよい生活にすることができると考え介護計画を立案、実施しました。計画の立案、実施は難しいものですが、担当利用者から感謝の言葉をかけられ、介護のやりがいを感じるようになりました。



実習では大変なことやきついこともありましたが、それ以上に利用者とのコミュニケーション等の中で楽しさを感じました。四月からは介護老人保健施設で働きます。一年間の学びを活かして、社会人として頑張りたいと思います。

「専攻科を

振り返って」

専攻科 音楽療法専攻  
今村 美月



「一年後の自分が苦勞をしないように」をモットー

に専攻科での生活を送ってきた。なぜこの目標を立てたかという、このままの自分では将来やっていけない、と思ったからです。

音楽療法士になる、という漠然とした夢を抱え短大二年間を送ってきましたが、学生生活残り一年となったら急に危機感がでてきました。将来のために出来ることを具体的に考えるようになりました。

そこで私が行ったのはボランティアです。学生のうちに色々な施設を見ておきたいと思ったのがきっかけです。音楽療法の手伝いも勉強になりましたが、実際に自分で実践することが一番の学びになりました。

一年後の自分が苦勞をしないように、と送ってきた一年も、そろそろ終わりに近づいてきました。色々な経験ができ、新たな目標もできました。向上心を忘れず、頑張っていきたいです。

「学ぶのに遅いと

いう事はない」

専攻科 音楽療法専攻  
山出 真美



私はひよんな事から音楽療法に出会い、短大の専攻

科で学ぶことになりました。専攻科入学前の後期から勉強を始めたこともあり、やっている事の意味が掴めず、わからない事もわからないという状態でした。

先生方にわからない事を質問すると、お忙しいにも関わらず丁寧な答えて下さり親身になって話を聞いて下さいました。

また、私の子どもと変わらない年齢のクラスメイト達は、皆さんとても優秀で、素晴らしい

学生さん達でした。何事にも一生懸命に取り組む姿はとてもきらりと輝いていて、一緒にいるだけで若返ったような気持ちになりました。打楽器での即興や感覚を使った作品作りなど、経験も感覚も持ち合わせていない私でしたが、刺激をたくさん受け、とても勉強になりました。

夏の集中講義では、子どもの発達に合った音や音楽を使った遊びを考える活動がとても印象に残っています。先生のアイデアで魔法のようにどんどん変わっていく、こんなにも一つの楽曲から遊びを発展させる事ができるのかと、とても感動しました。

この他にも、短大に入って音楽療法を学んだ事で様々な体験をする事ができました。

ピアノ指導に携わりながらの勉強は大変な事もありましたが、幼児への指導法や自分の音楽観を改めて見つめ直すよい機会になりました。自分の中の音楽を深め、自分自身をも見つめ直す学びの時期だったと思います。また改めて短大で学ぶ事になるとは思ってもいなかったの諦めずに挑戦して本当によかった

です。勇氣を持って一歩踏み出した事で、短大の音楽療法や共に学んだ友人達や熱心に御指導して下さいました。先生方に出会えました。

「学ぶのに遅いという事はない」と心から思います。





# サークル活動紹介



## 宮崎学園短期大学合唱団

部長 伊東 由衣

私達宮崎学園合唱団は今年も

全日本合唱コンクール・九州コンクール一般の部に社会人の合唱グループとして活動している「宮崎ビゼット・ドルチェ」と合流して参加しました。その結果、同コンクールにおいて、金賞を受賞することができました。今回歌わせていただいた曲は与謝野晶子さんの「君死にたもうことなかれ」という作品で弟の死を題材にしたものでした。有川サチ子先生の指導のもと、ただ楽譜通りに歌うのではなく感情を込めることを意識しながら歌いました。その中で戦争や命の尊さについて考えさせられ、この作品に出会えてよかったと感じました。本番でもホールいっぱい声を響かせることができとてもよい経験となりました。

今後の活動では、一月二十四日に行われる「宮崎県ヴォーカルアンサンブルフェスティバル」に参加します。二年生にとつて最後のコンクールになるので精一杯歌いたいと思います。



宮崎学園短期大学合唱団

## 二期一会の

おもてなしの心を大切に

茶道部 部長 姫野 杏奈

茶道部は週に1度・水曜日に先生を招き活動を練習しています。部員の多くは入学してから始めた人が多のですが、一人ひとりが真剣に取り組み、所作



茶道部

や礼儀を学びながら楽しく練習しています。

主な活動は、学校での練習、オープンキャンパスや秋の忍ヶ丘祭、学外で行われるお茶会があります。

お点前の一つ一つに、今の私たちにとつて精一杯のおもてなしの心を大切にしてきました。

そして今後もその気持ちを持って部員一同「二期一会」の茶会を楽しみ続けていきたいと思っております。

## 「文芸・漫画研究会」

部長 橋口 眞優

私達は文芸・漫画研究会です。主な活動は文化祭に販売する部誌の作成で、普段は好きな漫画やアニメの事について話をして絵を描いたり、自由に活動をしています。

特に部誌は、ページ構成を考えたたり部員と協力をして印刷・製本と大変ですが、その分でき上がった時の達成感は大いだと思います。

とても充実した時間を過ごせるので、よかつたら見学してみてください。



文芸・漫画研究会

## 陽だまり部

部長 齊藤 美咲

陽だまり部は、ボランティアサークルです。

サークルの名の通り、陽だまりのように温かくメンバー全員わきあいあいとしています。活動の中でも大きなものは、夏に開催される「まつりえれこっちゃんやざき」と「24時間テレビ」のボランティアになります。学年学科を問わず楽しめるのんびりとしたサークルになっています。



陽だまり部

## 「身近に感じる日本の伝統の美しさ」

和装部 部長 中武 えみ

私たち和装部員5名は、外部講師の先生に来ていただきご指導をいただきながら毎週2回活動しています。今年も、年1回開催される「着物装いコンテスト九州大会」に向けて練習しています。

今年も、学校対抗の部に3名1チームと振袖の部に個人で2名出場します。



和装部

大会では、鏡のない舞台で一人一人で美しく装うことができるかを競うものですが、更に立ち居振る舞い、情緒、言葉遣いも重要になります。

今年もこの大会に出場し、日本伝統の着物の美しい着方と立ち居振る舞いを身に付け、少しでも多くの方に着物の良さ、美しさを知っていただきたいと思っています。

「着物は難しい」と思われがちですが、着物の装い方を何度も練習し身に付けると10分程度の短時間で着ることができます。着物に興味がある方は是非この日本の伝統の美しさに触れてみてください。

## わたなべ塾（英会話）

部長 鈴木 香澄



わたなべ塾は、週1回30分程度の「レアジョブ」をしています。

「レアジョブ」では、インターネットを通して外国人の先生と英語で会話をします。最初とは



卓球同好会

## 卓球同好会

部長 松尾 星

私たち卓球同好会のメンバーは、保育科二年の私と中村美佳

も緊張しますが、お互いの顔を見ながら会話をするため、徐々に緊張もほぐれ、分かりにくい英語は分かりやすく教えていただけです。活動の目的の一番は言葉や文化の違う人との交流を大切に活動していますが、今年はサークルメンバーで保育英語検定にも挑戦するなど、日々楽しく活動しています。

さんの二名です。まだ創部三年目ですが、今年度も宮崎県や鹿児島県の試合に出場し活動してきました。メンバー二名とも二年生で来年にはメンバーが誰もいません。卓球経験者や初心者のみなさん大歓迎です。興味のある方はぜひ入部してください。

## SCサークル

部長 宮下 鷹空

私たちSCサークルは、1年生7名、2年生27名、計34名で活動しています。今年も、毎週水曜日に体育館でバスケット



SCサークル

ボール、バレーボール、木曜日はサッカー、金曜日は野球と様々なスポーツに取り組みできました。1・2年生ともに毎回楽しく活動しています。少しでも体を動かしたいと考えている方は、是非、私たちと一緒に楽しく体を動かしましょう。

## バレーボールサークル

部長 加治佐勇星

バレーボールサークルは、男女混合で毎週火曜日と金曜日に活動しています。OBの方も来てくれて楽しく練習していま



バレーボールサークル

す。いつも男女混合試合で時の経つのも忘れる程夢中になって、バレーボールに打ち込んでいます。

とても、楽しいサークルです。一度のぞいてみませんか。

## ダンスサークル

部長 岩切 愛

私たちダンスサークルは、保育科の1年生13名で「Beat Generation」というグループ名で活動しています。

これまでの活動は、本学で11月に行われた秋の忍ヶ丘祭、宮崎市内で行われている「まちなかイベント」それから日南市のわかすぎ保育園でダンスを披露しました。

練習は学内にある図書館のガラスの前で行っています。延岡から都城まで住んでいるところがバラバラな13人なので、なかなか予定が合わず苦労する部分もありますが、ダンスを全員で踊っている時は気持ちも一つとなり、とても楽しんで活動しています。

これから残り少ない短大生活で、できるだけ沢山のイベント

に参加して思い出を作りたいです。



ダンスサークル

## ヨガサークル

部長 小倉あづさ

痩せたい…そんな恋する乙女の叫びから発足したこのヨガサークル。ゆったりとした音楽を聴きながらヨガを楽しみます。部員の笑顔や苦痛に耐える顔、そんな様子を「twitter」でも絶賛発信中です。もっちり肌の部長、奇声を発する副部長、アクティブ過ぎる会計等々個性豊かな部員でのんびり活動してお

ります。わが講師植田先生は言います。「Perfect!!」。



ヨガサークル

### 宮崎学園短期大学

### アースウォーカーズ

部長 田代 茜

短大アースウォーカーズでは、東日本大震災の被災地支援を行っています。

私は、2015年の3月と9月に東北へボランティアへ行ってきました。

震災から4年半が経っている、どのくらい復興が進んでいる



宮崎学園短期大学アースウォーカーズ

るのかな?と思いき被災地へ行きました。実際には倒壊したままの家や道路、コミュニティが壊れて精神的にも苦しんでいる仮設住宅の方々など、なかなか復興が進んでいない現状を目にしました。福島では3歳の子どもが、外で雪遊びをしている子を見て「放射能の混じった雪では遊びたくない」と言っていたり、換気をしようと窓を開けると「先生、放射能が入ってくるから窓開けないで」と言っていたという話を聞きました。放

射能の影響で、いまだに外で遊んでいない子どもたちもいます。宮崎では当たり前前の事が、福島では当たり前ではないのです。そんな子どもたちが宮崎にリフレッシュに来た際のボランティアや、夏には貝殻を、秋には落ち葉や松ぼっくり、どんぐりを宮崎で拾って福島の保育園などに届けています。

宮崎でも気軽に出来る被災地

の子どもの笑顔につながるボランティアに、ぜひあなたの力をかしてください。



# 平成27年度 就職状況中間報告

就職指導課 (平成 28 年 3 月 2 日現在)

業種	保育科	現代ビジネス科	専攻科	合計
建設業		1		1
製造業	1			1
情報通信業		2		2
運輸業				
卸売・小売業	1	6		7
金融・保険業		2		2
不動産業				
宿泊・飲食業	1			1
生活関連サービス業		3	1	4
教育・学習支援業 (幼稚園)	42	1	6	49
医療・福祉(保育園)	114	14	33	161
複合サービス事業		1		1
公務員	3			3
専攻科	34			34
他進学				
合計	196	30	40	266

業種別就職内定者数

平成27年度卒業生就職先一覧

平成28年3月2日現在

## 建設業 (1名)

九南1名

## 製造業 (1名)

雲海酒造1名

## 情報通信業 (2名)

九州情報機器コンサル1名、マ  
ケットプラス1名

## 卸売・小売業 (7名)

植松商事2名、スズキ自販関西  
2名、出先(デサキデポ)1名、  
ゼビオ1名、ゴローズ・プロダ  
クツ1名

## 金融・保険業 (2名)

宮崎太陽銀行1名、プロテクト  
1名

## 宿泊・飲食業 (1名)

ホテルマリックス1名

## 生活関連サービス業 (4名)

JTB九州1名、宮崎総合警備

1名、スタジオ・アオイ1名

高千穂神社1名

## 教育・学習支援業 (2名)

幼稚園は別途

宮崎市立図書館1名、ヤマハ音  
楽教室1名

## 複合サービス事業 (1名)

そお鹿児島農業協同組合1名

## 医療・福祉業 (14名)

保育園・福祉施設は別記

古賀総合病院2名、平和台病院  
1名、小林市立病院1名、園田  
病院1名、横山病院1名、アイ  
レHDクリニック2名、松永歯  
科クリニック1名、さくらクリ  
ニック1名、青山歯科医院1名、  
落合内科医院1名、新城眼科医  
院1名、あじさい薬局1名

## 公務員 (3名)

宮崎市役所1名、門川町役場1  
名、椎葉村役場1名

**幼稚園 (47名)**

あいく幼稚園1名、あおぞら幼稚園1名、あさひ幼稚園2名、アリスこどもの家幼稚園4名、くにとみ幼稚園1名、こぼと幼稚園3名、ししのこ幼稚園1名、千代田幼稚園1名、天竜学園幼稚園1名、東幼稚園2名、ひかり幼稚園1名、宮崎幼稚園2名、小林カトリック幼稚園1名、綾一ツ岡南幼稚園2名、栄ヶ丘幼稚園2名、延岡カトリック幼稚園1名、宮崎至慶幼稚園1名、高千穂幼稚園1名、妻ヶ丘幼稚園1名、昭和学園幼稚園1名、成華幼稚園4名、第二和光幼稚園1名、日の出幼稚園1名、認定こども光が丘幼稚園2名、宮崎学園短期大学附属幼稚園2名、平和が丘幼稚園1名、油津恵愛幼稚園1名

**(県外)**

西部音楽幼稚園1名、美和台幼稚園1名、別府団地幼稚園1名

**保育所 (園) (126名)**

あさひ保育園1名、あゆみ保育園2名、くるみ保育園1名、さつき保育園1名、ソレイユ保育園1名、たんぼぼ保育園1名、ちどり保育園1名、ちびっこランドおつか園1名、なでしこ保育園1名、のぞみ保育園2名、ひがし保育園4名、ひまわり保育園2名、まるの保育園1名、みなと保育園1名、みなみ保育園1名、みやざき保育園3名、めぐみの聖母保育園2名、やまげほいくえん1名、ゆりかごWEC学院1名、よいこのもりこども園3名、よいこのもり第2こども園1名、わかすぎ保育園1名、一真保育園2名、下水流保育園1名、加納ひまわり保育園2名、希望ヶ丘保育園1名、吉尾保育園1名、吉野保育園1名、橘保育園2名、宮崎福祉会保育園2名、南・小林乳児保育園1名、小林市臨時保育士1名、串間保育園1名、五十市認定こども園1名、光明保育園1名、財光寺保育園1名、三股中央保育園1名、七つの星幼稚園2名、昭和保育園4名、浄信

会保育園4名、信楽寺保育園2名、真光会保育園2名、杉の子認定こども園1名、星華保育園1名、清武社会福祉会保育園3名、石井記念友愛社保育園3名、川東保育園3名、善長寺保育園1名、早水保育園1名、大塚保育園1名、大坪保育園3名、稚児ヶ池保育園2名、田代保育園2名、都城市社会福祉協議会保育園3名、島之内保育園2名、働馬寄保育園1名、内山保育園1名、南町保育園1名、日向な

ないろ保育園1名、日章福祉会保育園1名、日知屋保育園1名、白梅保育園1名、八幡保育園1名、飛江田保育園2名、富高保育園2名、浮之城ひまわり保育園1名、並木保育園1名、万ヶ塚保育園1名、鳴峰保育園2名、友愛保育園1名、蓼池保育園1名、飲肥保育園1名、権現乳児保育所1名、相愛保育園1名、志比田保育園1名

**(県外)**

あおぞら保育園1名、うみのくに保育園1名、エミール保育園1名、ひこばえ保育園1名、(株)

みつばスターチャイルド保育園1名、(株)モード・プランニング・ジャパン保育園1名、(株)小学館集英社プロダクション保育園2名、森友会保育園1名、三篠会保育園1名、隼人認定こども園1名

**福祉施設 (21名)**

障害者支援施設エデンの園2名、カリタスの園竹の寮1名、障害者支援施設うからの里1名、日章野菊の里 障害者地域支援センター2名、しんとみ希望の里1名、寿幸園1名、あさざり園2名、三愛園2名、ひなもり園2名、芳生苑1名、江南病院附属介護老人保健施設2名、春草苑1名、サンフローラみやざき1名、デイサービスセンターうしたに1名、幸楽荘1名

**専攻科 (34名)**

宮崎学園短期大学専攻科福祉専攻34名

# 新教職員紹介



## 共育



井上 浩義  
(保育科)

保育科の井上浩義と申します。よろしくお願いたします。講義では、心理学や保育内容を中心に担当しております。

保育者養成に携わって七年目。これまで、「保育者を目指す学生にとって必要なものは?」「子どもたちの成長を支える保育者の役割とは?」ということを考えながら、大学教育の教務制程度の理解をすすめ、授業を行ってまいりました。その中で、二年間という短い短大生活の中で大きく成長していく学生に関わりながら、また共に学生を指導する教職員の方や現場の先生方と意見交換させていただきながら、より良い保育者を養成する「先生の先生」として、自分自身

を大きく育てていただきました。

「教育」とは「共育」でもあります。私自身が教員として学生をはじめとしたたくさんの方とのかかわりの中で育ててもらったように、保育者もまた子どもたちとのかかわりの中で保育者として成長していくものだと思います。そのような謙虚な姿勢を持ち、育て育てられる保育者を養成していきたいと考えています。

## 自分なりの 本学への貢献



小澤 拓大  
(保育科)

今年度より、本学保育科で勤務をさせていただいております。以前は、専修大学大学院文学研究科心理学専攻博士後期課程に所属

しておりました。専攻は心理学(社会心理学)であり、研究テーマは「人の適応」です。本学では、「保育者の適応」といった形で研究を進めていけたらと考えております。保育現場にも新任保育者の適応の問題、離職の問題、各自の任務・役割の遂行、家庭と保育の両立といった様々な適応の問題があるかと思えます。保育者の適応に寄与する知見を見出し、それを本学での授業や学生との交流等の中で還元していく、それが自身ができる本学への貢献の一つではないかと考えております。もちろん、それ以外にも一教員としてできること、すべきことは数多くあると考えておりますが「何が学生のためになるのか」をしっかりと考えたうえで、学生にとって適応的な環境がつくれればと思っております。よろしくお願いたします。

## 夢に向かって



高妻 弘子  
(保育科)

「あなたの夢はなんですか?」そう聞かれてはつきりと答えられる人に出会おうとズギューンと心が痺れます。

私は、今年度から仲間入りしました高妻弘子と申します。昨年度まで幼稚園に勤務し、常に夢をもち堂々と宣言することができた子ども達に囲まれて過ごしていました。人はいつから夢に臆病になるのでしょうか。かく言う私も夢を宣言できない多数派です。

嬉しいことに保育科の学生は『幼児教育に携わる仕事をする』という夢をもって入学してきます。その夢は確実に達成される環境にありその実現のために充実したカリキュラムが準備されています。理論を学び、実践力をつけ、専門職として社会に貢献することとなる学生に、そこからまた、新たな夢が生まれる



ことを願っています。そのため私にできることは何か。試行錯誤しながらの毎日ですが、現場の実態を共有し、人を育てることの意義深さを通して、責任感や誇りをもって仕事に臨む未来の『先生』に期待しているところです。

どうぞよろしくお願いいたします。

### 学生たちと共に学ぶ



齋藤 隆文  
(現代ビジネス科)

初めまして、本年度より現代ビジネス科に勤務しております齋藤隆文です。どうぞよろしく申し上げます。

本学にお世話になる前には、生まれ育った宮城県仙台市で非常勤の講師を務めておりました。ご縁あつて本年度より宮崎学園短期大学にお世話になっております。

講義では、簿記、WordやExcelなどの情報処理の科目、そしてビジネスに関する科目を担当させて

いただいております。

自らも高次の資格に長年挑戦してきた経験を生かして、学生たちが社会に出た際に役立つ資格・スキルを一つでも多く修得できるように学生ひとりひとりの個性と向き合いながらサポートしていききたいと思います。しかしながら、学んでいる学生たちの姿勢、資格に挑戦する学生の姿勢、行事に参加する学生たちの姿勢から、教える側の私が教えられることも多くあり、学生たちと接する時間は私にも多くのものをもたらしてくれていると感じています。これからも学生たちと共に学ぶ姿勢を持ち続け、少しでも学生たちに還元することができるよう精進していきたいと思っております。

### 目指せ保育士



富高 令子  
(保育科)

忍が丘に建つ宮崎学園短期大学にご縁がありまして、平成

二十七年四月よりお世話になっております。こちらでは、木曜日の午後に低年齢児保育を担当して、一年C・D級の授業を受けて、一年C・D級の授業を受け持っています。一週間の大半は、清武みどり幼稚園で園長職を務めています。どうぞよろしくお願いたします。

私は、大学では幼児教育を学び、そして、幼児と係る仕事が描いてきました。また、長年小学校に勤務していましたが、小学校に勤務する前までの教育の重要性を強く感じてきました。そして、今になって、とうとう自分の夢が実現する機会を得ました。夢は持ち続けることで、いつかかなう時が来ることを改めて感じていきます。

幼稚園の保育士は、子どもたちの柔らかな感性に触れ、発見することや感心することがたくさんあり、大変やりがいのある仕事です。学生の皆さん、ぜひ、挑戦してくださいね。

### 学べることの幸せ



東 真美子  
(保育科)

本年度より本学の保育科教員として勤務しております、東真美子と申します。昨年度までお世話になっていた宮崎学園高等学校では、音楽科の教員として音楽の理論や歴史、ピアノ等を教えていました。そこでは音楽大志望の生徒にも対応するため、「学びなおしながら教える」ということを大切にしておりました。特に音楽史を教えたことで、西欧の歴史や音楽について知ることができ、今、自分の生まれた国や時代、この環境がいかに素晴らしいものなのかということを深く感じることもできました。世界には学ぶ権利を奪われている人も多くいます。この学ぶ権利を含め、個人の権利が大切に扱われる今の日本。これは日本人一人ひとりが「礼節と勤労」の精神をどこかに持ち続けているからこそこのことではないで



でしょうか。その精神を掲げる本学で、素晴らしい先生方に囲まれながら新たな学びをスタートさせることができ、感謝の気持ちで一杯です。学生の皆さんとの出会いも大切にし、それぞれの立場で共に成長していきたいと思っております。どうぞよろしくお問い合わせいたします。

立場変わって、若い芽を育てるといふ覚悟



松下 律子  
(保育科)

今年、保育科創立五十周年を迎える節目に縁あって本学で教鞭を執ることになりました。これまで高等学校教職員として本学に何人の学生を送り出したことでしょうか。まさかこのような形で本学にお世話になるとは思いも寄らないことに、少々驚いています。今から十七、八年前、家庭に関する学科のクラス担任をした折には、高校入学間もなくから本学の保育科を目

指したいという生徒が多数おり、入試前に既にクラス内で選抜をせねばならないほど本学の人気がありました。お陰様で、そのときの学生全員が本学の入学を許され、保育士として見事に育てていただき、現在、地元の施設で保育士として活躍しており、感謝に堪えません。  
しかし、これからは立場が変わって、高校から送っていただいた学生をしつかり受け止める、地元で活躍する人材育成を目指す研究機関及び教育機関としての使命を持ち努めてまいりたいと存じます。

よろしくお願ひします



泰田 久史  
(保育科)

二十代を公立の小・中学校の教諭として過ごし、三十代は綾町の小さな窯元として過ごしました。夢に見た陶芸家としての生活でしたが、職人として生きることになり精一杯の日々でもあり

ました。四十代になり、ようやく生活や精神面に余裕が出来てきた頃です。自分でも全く予想しなかった感情が湧き上がってきたのです。それは「もう一度教壇に立ちたい」というものでした。

自分でも驚きました。当時は週に一時間だけ専門学校で美術の授業を担当していたのですが、学校に行きたくて仕方ないのです。結局、自分の根っこは教員である事を知ったのです。その後は学校現場や保育園等での活動も続けてきました。

今回ご縁をいただき、本校でお世話になることになりました。歴史ある宮崎学園短期大学の教員として恥ずかしくないよう頑張りたいと思います。よろしくお願ひします。

よろしくおねがひします



吉井 真也  
(入試広報部)

平成二十七年四月から入試広

報部に勤務しております吉井真也と申します。どうぞ、よろしくお願ひします。宮崎国際大学と宮崎学園短期大学の学生募集業務を兼務しております。

入試広報部の仕事は学生募集が主で、県内外の高校を訪問して先生方に入試や様々な行事の案内をします。また、進学ガイダンスなどへ参加して進学を考えている生徒に本学の教育特色やキャンパスライフなどの説明をして、本学をアピールします。

これらの活動が受験生の本学受験に繋がりますので、責任の重い業務だと思います。その他に大学内外へ情報発信する業務もあり、その取材で授業や実習にお邪魔させてもらうことがあります。みなさんの真剣な学習への取り組みにいつも感心しています。

宮崎学園短期大学は半世紀近くの歴史があり、多くの卒業生達が県内外で活躍されています。この伝統ある本学により多くの入学生を迎えられるように一生懸命学生募集に励みたいと思っております。

# 平成28年度オープンキャンパス 7・8・3月の3回開催!

平成28年度も3回開催いたします。

ミニ講座、製作体験、学生の作品展示や入試相談、お楽しみ抽選会など楽しいプログラムで毎回参加者から好評を頂いているオープンキャンパス。「出願者の9割近くがオープンキャンパス参加者」というデータをも、受験生がいかにオープンキャンパスを重要視しているかがわかります。

本学に興味をお持ちの方ならどなたでも大歓迎です。高校生のいる友人やお知り合いがいらっしゃったら、是非声をかけてみてください。



9:00~	受付開始
9:30~	オープニングセレモニー 学長挨拶 大学概要説明 卒業生からのメッセージ
10:20~11:00	ミニ講座 1
11:10~11:50	ミニ講座 2
12:00~	学食体験※
13:00~	終了

※第1回と第2回に実施します。

## 無料送迎バス



JR宮崎駅東口	8:40	8:55	10:25	
JR南宮崎駅	9:00	9:15	10:45	
JR清武駅	9:00~10:00の間随時			

※バスの時間は変更する場合があります。  
必ず事前に本学ホームページやフリーダイヤル(0120-310-796)でご確認ください。  
※3月12日のバス運行時間、プログラムは異なります。

## ■各地で入試相談会も開催します。

日程	時間	会場
6月4日(土)	13:00~16:00	本学会議室
	13:00~16:00	小林市中央公民館
	13:00~16:00	日南テクノセンター
6月5日(日)	10:00~13:00	宮崎市中央公民館
	10:00~13:00	日向市文化交流センター
	10:00~13:00	都城市コミュニティセンター
6月18日(土)	13:00~16:00	延岡市社会教育センター
7月3日(日)	9:30~12:00	オープンキャンパス会場
8月7日(日)	9:30~12:00	オープンキャンパス会場
3月12日(日)	9:30~12:00	オープンキャンパス会場

# しのぶ会だより

総会員 18,795 名（平成 28 年 2 月現在）

## 祝 宮崎学園短期大学創立 50 周年を迎えました。

平成 27 年 10 月 12 日（月）宮崎学園短期大学創立 50 周年記念式典が宮崎市昭和町の大坪記念ホールにおいて開催されました。式典終了後、河野宮崎県知事による「宮崎県の明日を担う学生に期待するもの」と題しての講演会を開催しました。

午後からはニューウェルシティ宮崎において記念祝賀会が催され、同窓会しのぶ会の木脇孝子副会長からお祝いの言葉が述べられました。



私にとって慣れ親しんできた宮崎女子短期大学が、2008年に新たに宮崎学園短期大学として幕が揚げられ、早いもので7年の月日が流れました。今年50周年を迎えられました事に、心より御慶び申し上げます。「光陰矢のごとし」と申しますが、振り返ってみますと、昭和40年4月15日に開学し、半世紀という歳月が流れ、1万9千余名の卒業・修了生を、宮崎県内外に



山本千鶴子

宮崎学園短期大学同窓会  
しのぶ会 会長

送り出されました。その間、常に社会に貢献できる人づくりとしての、道標を示され「礼節と勤労」の精神を掲げ、歩んでこられた半世紀が、脈々と引き継がれ、今後50年を見据えて、さらに日本一の学園に、発展されますよう、第一期生として、「宮崎学園短期大学は永遠なれ」と心よりお祈り申しあげ、私のお祝いの、言葉とさせていただきます。



# 記念祝賀会

## 木脇副会長のお祝いの言葉

『宮崎学園短期大学50周年』誠におめでとございます。昭和40年、『宮崎女子短期大学』として創設され、その後、平成20年『宮崎学園短期大学』と校名を変更されました。同年、男女共学となつてからは、多くの学生の学びの場を更に広げてこられました。私自身、『宮崎女子短期大学』の時代、初等教育科で学友と一緒に学び、先生方に支えていただきながら、学生生活を送っていたことを思い出します。また、卒業後、多くの卒業生の代表としての『しのぶ会』を通じて、様々な形での関わりをさせて頂いていることも嬉しく思っています。ところで、50年もの間、本学教職員の皆様・関係者の多大なご尽力により学生にとって学びやすい教育環境となるように、多くの変遷を遂げてこられました。今後、更に60周年・70周年そして100周年のお祝いができますよう、私達『しのぶ会』も今後、一層精進して参りたいと思っております。終わります。



大坪久泰 相談役  
(前宮崎学園理事長)



木脇孝子しのぶ会副会長

記念祝賀会にご出席いただいた旧教職員の方々です

にあたりまして、この記念すべき年をスタートとし、本学が益々発展されますことをお祈りいたします。ご挨拶とさせていただきます。



田中司郎先生(国文科)79歳 鹿児島からの参加です。



末平浩康先生(音楽科)すばらしい歌声に酔いました。



山下 忍名誉学長 久しぶりの山下先生のお話に心温まる一刻でした。



見山靖代先生(音楽科)素敵な声はお変わりありません。



三森 猛先生(初等教育科) 喜寿を迎えられます。守川(唐下)美輪先生 現在は宮崎国際大学勤務です。



大坪誠夫先生(本部事務部長) 短大では人文地理学を習いました。



原崎正司先生(保・初)やっぱりお若い。バイカー先生 割腹が良くなりました。安楽良行さん(就職指導課長)今年で80才元気一杯です。



中村利昭先生(人間の研究 勤労)卒業式、入学式の式場を飾っていたサイネリアの花は先生が種子から1年かけて咲かせていただいていたました。



古田 豊先生(入試広報次長)よく演奏会でお見かけします。



田上普美子さん(事務局)保育科の定員増の書類作成や専攻科(福祉専攻)の設置業務、大変でしたけど、やりがいがありましたね。



加藤輝夫先生(保育科)喜寿の年です。タブレット持参での参加でした。西下勝治先生(人間文化学科)喜寿トリオの1人です。



江村理奈先生(左、保育科)長崎からお越しいただきました。現在長崎外大にご勤務です。



山下恵子理事長 山下 忍名誉学長 黒木行洋先生(保育科)



谷口和子先生(人間文化学科)



後藤多津子先生(国文科)宮崎学園高校の校歌作詞者です。



永井憲章先生(清武みどり幼稚園長・事務局)明教庵でお茶を点ていただきました。



大坪邦實先生(保・初)現在は昭和保育園理事長先生



大坪昭裕先生(初等教育科・副学長)米寿を迎えられました。

## 近況報告

昭和五十一年三月

### 初等教育科卒業

小室（旧姓田中）桃子

2014年忍ヶ丘V.O.L.6  
「初等教育科及び音楽科は、平成26年度（平成27年3月）が最後の卒業生となります」の見出しに驚きました。時代の変化ということなのでしょう。お世話になった学科がなくなるということも寂しさを伴うものだと感じました。

私は昭和51年卒業の初等教育科A組（旧姓田中）の在籍でした。あの頃、たしかカラーゼンズをはいて通学していた学生は稀だったと思います。そんな中、原付バイクに赤いゼンズ姿で通う学生の私に、先生方の一部では「危ない人間？」と思われていた時期があったと卒業後伺ったことがあります。笑い話のような思い出です。

学生生活は、ユースホステルクラブと新設の弓道部に席をおきました。今でもあるのでしょうか、日本広しといえど学内に礼儀作法を教授するための建物があり、毎週学べたことは私に

とってはたいへん貴重な思い出です。

さて、卒業後私は東京都の教員として32年間務めました。立川市を皮切りに、10年目に在任、その後、練馬区、千代田区、八丈島、板橋区と、地域も学校規模も大きく異なる地域を回りました。そして定年を待たずに退職をし、民間NGOの派遣でカンボジア王国で教育アドバイザーとしてボランティア活動を2年間させていただきました。

教員に成りたての40年前は、教育界では「校内暴力の嵐」が小学校に降り始めている頃。そのような中、当時はまだ言葉として確立されていなかった「たのしい授業」をめざし、「本当のことは何かな？」を探りゆくことを私自身が楽しんでいたいといえます。そして子どもと共に、教師としてだけでなく人間として、先輩・同僚・親御さん・職場仲間・友人知人：すべての人に育ててもらいました。「素直な学びと批判的な思考の目」を自分の中で培っていく時間でもありました。

カンボジアに行く前、日本で

は「いじめ」問題が後を絶たず、文科省や国もいろいろと手を尽くしていました。2年後帰国時には、ずいぶんと解決に向かってきているだろうとの思いで戻ってきました。ところが問題はほとんど変わらない状態で、そのことに心が痛みます。

日本の国の中が、経済最優先、それだけが重要・大切であるかのような風潮に、どこか違和感を抱いてしまった当時の私。これからの日本だけでなく、地球の未来を背負っていく若者学生たちへ、どうぞ目の前にある流りに捕われてしまふのではなく、大きな視野で、また長い時間枠の中で思考する。そのような体内時間をぜひ培ってもらいたいなあ、と思っています。

溢れんばかりの情報の渦にある日本にあつて、どんな情報をもどのように取り入れるのか、しかもそれを一人で考え消化するのではなく、ぜひ友人と、或は世代の違う人々と対話して自己の成長に繋げていってほしい。大学には「時代を見る目」を育てる教育を今後も続けていってくださることを願っています。

2年前に帰省の折、自費出版した「Nikoにこカンボジア」エナジーをあなたに」（著者：二胡、文芸社）を携え、美しくなった清武の学園を訪れました。立派な校舎にお洒落な雰囲気、大きな銀杏の木が頼もしく、仰ぎ見ました。学長は入学式前でお忙しく、持参した拙著を読んでいただけたらと事務局の方に預けて失礼しました。

あの頃のクラスメートは何処に？住所も分からなくなり数年、もしもどなたかがこのメッセージを読んでくださったら繋がる可能性もあるかしら？そんな思いもあつて近況報告致しました。



# 同窓会から



昭和五十年三月初等教育科卒業

代表者 宇田(旧姓杉尾)睦子

平成二十七年六月十三日に年  
度を越えた少し遅めの還暦同窓  
会を開催しました。

卒業して四十年。ごく親しい  
者同志でそれぞれに集まること  
は度々あっても、初教全体の同  
窓会はもう二十数年開かれてお  
らず、連絡先の把握に苦労しま



した。

案内した二十三名中十一名の  
参加でスタート。卒業アルバム  
や現在の短大写真を見ながら共  
に過ごした青春時代に一瞬にし  
てタイムスリップ。アルバムを  
見ながら欠席者の近況を教え  
合ったり、連絡先のわからない  
クラスメートの近況が気にか  
かったり、長い年月の空白を埋  
めるかのようにパワー全開でお  
喋りに花を咲かせました。また  
有志提供賞品でビンゴゲームに  
興じてそれはそれは賑やかなひ  
とときでした。

卒業以来四十年ぶりという友  
も交えて、お互いの変貌ぶり  
は目を背け、若かりしあの頃の  
瑞々しい心に戻り完全個室にし  
て正解だったと確信しました。  
参加者それぞれが至福の時を過  
ごせたのではないのでしょうか。  
更にお店のご配慮で一人ずつ  
にミニブーケのプレゼントをし  
ていただき、乙女のようにしや  
ぎ記念写真に収まりました。

二次会では当時流行していた  
フォークソングを生ギター伴奏  
に合わせて皆と一緒に歌いまし  
た。古い宝石箱から懐かしい大  
切なものを見つけだした夢のよ  
うな一夜でした。  
次回お昼開催での再会を約束

し別れました。たくさん連絡  
先不明者を少しでも減らし、数  
多くのクラスメートに案内状を  
出したいものです。左記出席者  
の中に懐かしい名前を見つけら  
れましたか？昭和五十年三月卒  
業の初教の皆さんご連絡をお待  
ちしています。

代表 ○九八五(五八)○九五四

出席者

A級

川田(市原)千草

井俣(郡)啓子

椎葉(推葉)幸香

馬籠(黒岩)節子

黒木(杉尾)多美子

宇田(杉尾)睦子

B級

黒木(田吉)良子

仁田(原)美智子

平山(日高)久美子

大石(町田)悦子

三樹 郁代

■昭和五十七年三月初等教育科D組卒業

代表者 前田 佳月

遠くを走る汽車の音を耳にす  
ると、毎日通い共に学んだあの  
二年の日々を思い出します。



同窓会も今年で十四回目にな  
ります。

矢口先生を含め十六名の参加  
があり、変わらぬいつもの素敵  
な笑顔が見られました。

そんなみんなのコメント及び  
つぶやきをいくつか紹介しま  
しょう。

◎恒例の同窓会、とても楽しみ  
にしています。

すぐに○○年前の学生時代  
の話に花が咲き、たくさん笑っ  
て元気をもらえます。A・S  
◎準備からお疲れ様です。おか  
げで楽しい同窓会で嬉しかっ

- たです。また次回会えるのを楽しみにしています。M・K
- ◎一年ぶりの同窓会！皆元気に再会できて良かったです。身体に気をつけていつまでも元気で頑張りましょうね。Y・O
- ◎うちのなす・きゅうりおいしーいよ！I・T
- ◎二年ぶりの同窓会です。皆様、それなりに年を重ねて、盛りだくさんの楽しいお話しで盛り上がりました。元気でまたお会いしましょうネ！Y・M
- ◎毎日仕事に頑張っています。今日は久しぶりの同窓会、楽しみにしてました。楽しかったです。T・H
- ◎五十四歳になり、久しぶりに皆様にお会いできて幸せ！生きてて良かったです。Y・H
- ◎お久しぶりの参加です。五十を過ぎると、色々と体調もくずれてきますね。ほちほちがんばります。K・K
- ◎毎年、矢口先生を始めたたくさんのお話が出てとても楽しいひとときです。いつまでも元気にまた会いましょうね。H・H
- ◎年一回、皆さんに会えるのを楽しみにしています。今日も楽しいおしゃべりができて良かったです。K・K
- ◎子どもの送迎のついでのプララにわくわくしています。N・T
- ◎五十歳を過ぎててもみんなの笑顔に出会えたら、一瞬で二十歳のあの日々々々タイムスリッブ！M・T
- ◎今日は日南グループが幹事という事で、地元でも顔を合わせることのない三人で楽しく準備する時間ができました。矢口先生を始め、たくさんの方の笑顔とおしゃべり、楽しかったです。ありがとう。来年も楽しみにしています。N・Y
- 皆それぞれにいろんな思いを背負って毎日頑張っている中、年に一度の集いではありますが、あの頃に戻って語り合い、心の底から笑い合うことでたくさんの元気をもらって、また来年会うことを約束して各々の家庭へと帰っていきます。
- 体調を崩して今回残念ながら会えなかった人もいますが、年に一度のハッピーな瞬間を心待ちにしながら、来年はきつと笑顔を見せてくれることでしょう。



## ご存知ですか？



### 「教員免許更新講習」と「保育士資格取得特例講座」について

#### 教員免許更新講習について

平成十九年の改正教育職員免許法の成立により、平成二十一年四月より教員免許更新制が導入されました。この制度は「教員として必要な資質能力が保持されるよう、定期的に最新の知識技能を身に付けること」で、教員が自信と誇りを持って教壇に立ち、社会の尊敬と信頼を得ること」を目的に実施される制度です。

宮崎学園短期大学では、主に幼稚園教諭を対象に講習を実施していますが、平成二十八年度の実施については新年度になってから宮崎学園短期大学ホームページにてご案内いたします。

自分が受講対象者であるか、何時受講しなければならぬかなどは文部科学省のホームページでご確認ください。

#### 保育士資格取得特例講座について

平成二十四年に改正認定こども園法により新たな「幼保連携型認定こども園」が創設されました。新たな「幼保連携型認定こども園」は学校教育と保育を一体的に提供する施設であるため、職員は「幼稚園教諭免許状」と「保育士資格」の両方の免許・資格を有する「保育教諭」が位置づけられています。新たな「幼保連携型認定こども園」への円滑な移行を進めるため、改正認定こども園法の施行後五年間は、「幼稚園教諭免許」または「保育士資格」のいずれか



有していれば「保育教諭」として勤務できる経過措置が設けられており、この間にもう一方の免許・資格を取得する必要があります。

宮崎学園短期大学では、幼稚園教諭免許状のみを有する方の保育士資格取得促進のため、保育士資格の取得特例制度に基づいて、保育士資格取得特例講座を平成二十六年から開設しています。

平成二十八年の実施については、新年度になってから宮崎学園短期大学ホームページにてご案内いたします。

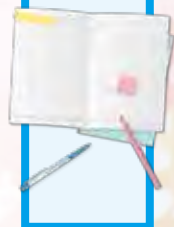
なお、特例制度の対象者等については、厚生労働省のホームページでご確認ください。

また、宮崎学園短期大学に隣接する姉妹校の宮崎国際大学では「保育士資格のみを有する方を対象に幼稚園教諭免許状取得特例講座」を平成二十七年開設しました。

平成二十八年度も開設予定です。



## お知らせ



### 保育士等再就職支援・求人情報案内について

短大ホームページから就職情報が閲覧できます。

保育士資格を持っている方で、出産や育児等ではなく現場を離れている方、又は保育士・介護福祉士等「福祉の仕事」への就職を考えている方。

宮崎県ではそういった方々への再就職を支援する事業として、福祉関係の求人を一括閲覧できるウェブサイトを立ち上げています。同窓会しのぶ会でも卒業生の方々への再就職について、積極的に支援したいと考えております。

このウェブサイト（宮崎県社会福祉人材センター）へは、宮崎学園短期大学ホームページ「卒業生の方へ」からも閲覧できます。ご利用ください。

短大のホームページ URL : <http://www.mwjc.ac.jp/>

### しのぶ会連絡先

〒889-11605 宮崎市清武町加納丙1415番地

宮崎学園短期大学同窓会 しのぶ会事務局

TEL 0985 (85) 0146  
FAX 0985 (85) 0101

# ご利用ください!

- \* この用紙は、宮崎学園短期大学（宮崎女子短期大学）卒業生用証明書申込用紙です。
- \* 証明書が必要な場合は、この用紙をご利用ください。
- \* 証明書申込みの際、現住所等に移動があった場合は、しのぶ会事務局にて住所等を変更しますので、異動通知を出す必要はありません。

- ※ 各項目は、必ずご記入ください。記入・押印漏れのある場合は、発送ができませんのでお気を付けください。
- ※ 学籍番号につきましては、不明の場合記入する必要はありません。
- ※ 内容確認をおこなう場合がありますので、必ず連絡できる住所・電話番号を「」記入ください。

## 証明書申込用紙

証明書名	枚数	証明書名	枚数	
卒業証明書		保育士資格証明書		
成績証明書		司書講習終了証明書		
学力に関する証明書				
*証明書1枚につき300円		<b>金額合計</b>	<b>円</b>	
卒業年	昭和・平成	年	月	卒業
学科名等	科	組	コース	
学籍番号				
生年月日	昭和・平成	年	月	日生
現氏名				
(旧姓)				
現住所	〒	—		
電話番号	( )	—		

(希望送付郵便 普通・速達)

## 証明書申込用紙

証明書名	枚数	証明書名	枚数	
卒業証明書		保育士資格証明書		
成績証明書		司書講習終了証明書		
学力に関する証明書				
*証明書1枚につき300円		<b>金額合計</b>	<b>円</b>	
卒業年	昭和・平成	年	月	卒業
学科名等	科	組	コース	
学籍番号				
生年月日	昭和・平成	年	月	日生
現氏名				
(旧姓)				
現住所	〒	—		
電話番号	( )	—		

(希望送付郵便 普通・速達)

# 注 意 事 項

- \* 証明書料金は、1枚につき300円です。返信用送料とともに切手か郵便為替に換えて封書にて郵送してください。
- \* 証明書は、期日に余裕を持ってお申込みください。
- \* 証明書申込先住所・返信用送料明細は、申込用紙裏面記載のとおりです。
- \* お寄せいただいた個人情報に関しましては、目的以外には使用しません。

**\* 注意事項をよく読み証明書申込用紙  
に必要事項を記入して封書にてお申  
込みください。**

証明書申込先

〒889-1605 宮崎市清武町加納丙1415

宮崎学園短期大学 証明 係

TEL 0985-85-0146

返信用送料明細

証明書3枚まで普通郵便料 120円

速達郵便希望の場合 プラス280円

\* 送料の過不足が出た場合は、証明書送付時に  
通知します。

通 信 欄

**\* 注意事項をよく読み証明書申込用紙  
に必要事項を記入して封書にてお申  
込みください。**

証明書申込先

〒889-1605 宮崎市清武町加納丙1415

宮崎学園短期大学 証明 係

TEL 0985-85-0146

返信用送料明細

証明書3枚まで普通郵便料 120円

速達郵便希望の場合 プラス280円

\* 送料の過不足が出た場合は、証明書送付時に  
通知します。

通 信 欄

# 異動通知は必ず出してください！

会員の皆様方の身上に異動が生じた時には、必ずこの葉書をお出してください。  
また、お寄せいただいた個人情報につきましては、同窓会しのぶ会運営の目的以外には使用しません。

※今後あなたの住所・電話番号・勤務先等に変更等があった場合、また結婚して改姓・転居される場合には、ご面倒でもこの葉書を利用してご連絡ください。  
※同窓会の旧職員・先輩・後輩を問わず住所不明の方の消息や住所等をご存知でしたらぜひお知らせください。  
※占線にそって切りとり、ご使用ください。

## 異動通知連絡カード

※どちらか〇で囲む 平成 年 月 日 報告

①本人の訂正・異動通知	掲載頁	年版
②知人(本人以外)の訂正・異動通知	頁	行目
※②の場合 連絡者名	卒年	昭和・平成
	学科	科 組

卒年	昭和・平成	科	組	(不明者 <sup>※</sup> )
フリガナ	Ⓢ	旧姓	Ⓝ	
氏名	( )	( )	( )	
〒				
現住所				
		市外局番	市内局番	番号
		Ⓢ	( )	
勤務先				
		市外局番	市内局番	番号
		Ⓢ	( )	
確認事項	同窓会しのぶ会からの発送に関して 希望する ・ 希望しない			
	宮崎県内在住者は県名を省略 。自営の方は社名・店名を記入			
	<b>注意</b> 。「1丁目2番3号」は「1-2-3」のように記入			

## 異動通知連絡カード

※どちらか〇で囲む 平成 年 月 日 報告

①本人の訂正・異動通知	掲載頁	年版
②知人(本人以外)の訂正・異動通知	頁	行目
※②の場合 連絡者名	卒年	昭和・平成
	学科	科 組

卒年	昭和・平成	科	組	(不明者 <sup>※</sup> )
フリガナ	Ⓢ	旧姓	Ⓝ	
氏名	( )	( )	( )	
〒				
現住所				
		市外局番	市内局番	番号
		Ⓢ	( )	
勤務先				
		市外局番	市内局番	番号
		Ⓢ	( )	
確認事項	同窓会しのぶ会からの発送に関して 希望する ・ 希望しない			
	宮崎県内在住者は県名を省略 。自営の方は社名・店名を記入			
	<b>注意</b> 。「1丁目2番3号」は「1-2-3」のように記入			

郵便はがき

8 8 9 1 6 0 5

宮崎市清武町加納丙一四一五  
宮崎学園短期大学内

宮崎学園短期大学同窓会

しのぶ会 行

52円切手  
をはって  
ください

通信欄

郵便はがき

8 8 9 1 6 0 5

宮崎市清武町加納丙一四一五  
宮崎学園短期大学内

宮崎学園短期大学同窓会

しのぶ会 行

52円切手  
をはって  
ください

通信欄

